

※7月31日時点での速報集計であり、今後数値等が変動する可能性があります。

令和6年 上田市住民アンケート 調査結果報告書

令和6年8月
長野県 上田市

目 次

第1章 調査の概要..... 1

1. 調査概要 1

第2章 調査結果..... 3

1 属性情報 3

2 上田市の住みやすさについて 10

3 市の全般的な施策や事業等について 29

4 子育て支援について 39

5 環境(脱炭素・ゼロカーボン)の取組について 42

6 先進技術等の活用について 43

7 長野大学をはじめとする市内の大学等について 46

8 上田市の将来について 52

9 上田市の自慢できること・ものについて 58

10 今後のまちづくりについて 63

第 1 章 調査の概要

1. 調査概要

(1)調査対象

- 市内 18 歳以上の住民 5,000 人を対象に無作為抽出（外国人も含む）

(2)調査期間

- 2024 年 5 月 13 日（火）～2024 年 6 月 10 日（月）

(3)調査方法

- 配布方法：郵送による配布
- 回収方法：郵送あるいは WEB による回答

(4)回収状況

- 回答者数 1,814 人（うち WEB による回答者 303 人）
- 回収率 36.3%

(5)設問内容

- 属性情報
- 上田市の住みやすさについて
- 市の全般的な施策や事業等について
- 子育て支援について
- 環境（脱炭素・ゼロカーボン）の取組について
- 先進技術等の活用について
- 長野大学をはじめとする市内の大学等について
- 上田市の将来について
- 上田市の自慢できること・ものについて
- 今後のまちづくりについて

(6)その他

- 本報告書では、過去に実施した調査結果と比較している箇所がある。過去の調査の概要は以下のとおり。

本報告書内の表記	前回 [2019 年]	前々回 [2014 年]
調査対象	市内 18 歳以上の住民 5,000 人を対象に無作為抽出	
調査期間	2019 年 7 月 1 日 (月) ~ 7 月 23 日 (火)	2014 年 8 月 21 日 (金) ~ 9 月 8 日 (月)
調査方法	郵送による配布、 郵送あるいは WEB による回答	郵送による配布・回収
回収状況	回答者数 1,914 人 回収率 38.3%	回答者数 1,987 人 回収率 39.7%

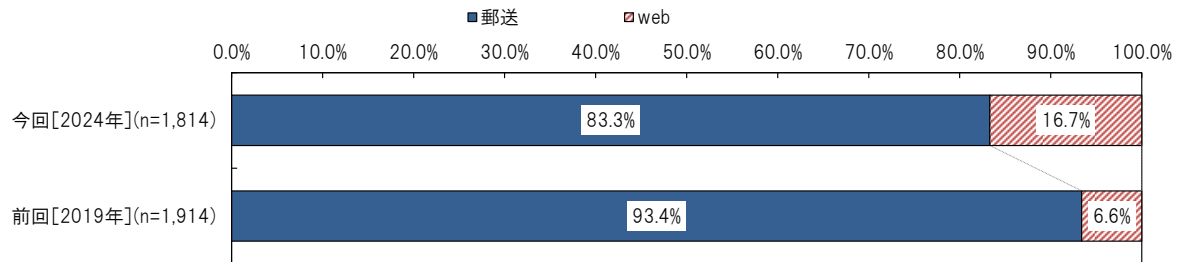
- 四捨五入の関係から、構成比の合計が 100%にならない箇所がある。

第2章 調査結果

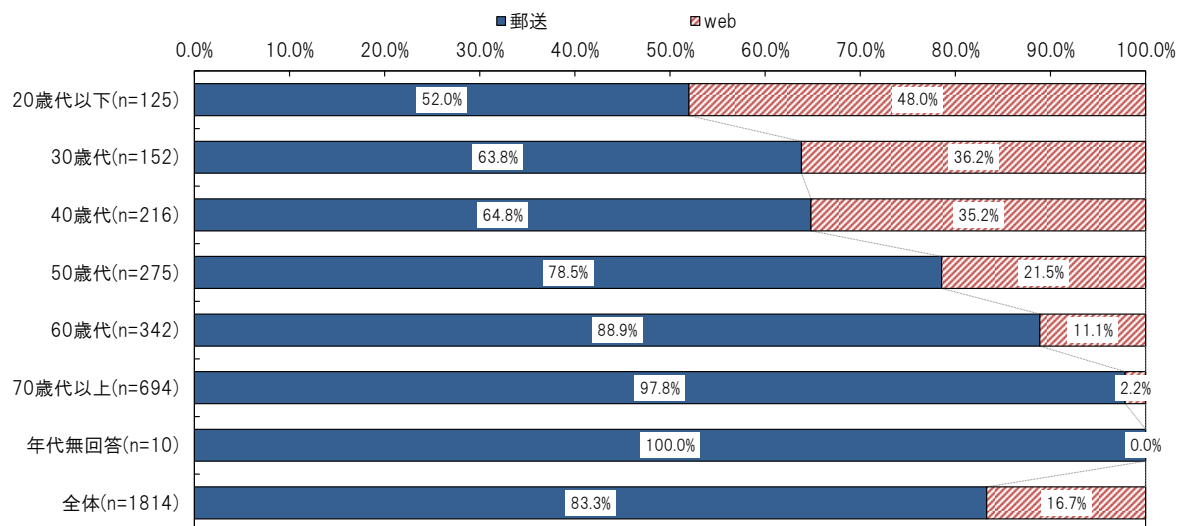
1 属性情報

○ 回答方法

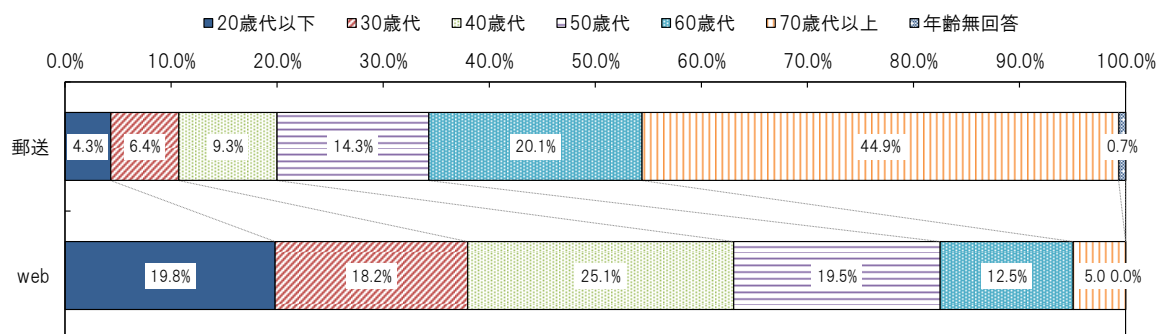
図表 1 回答方法



図表 2 年代別にみた回答方法

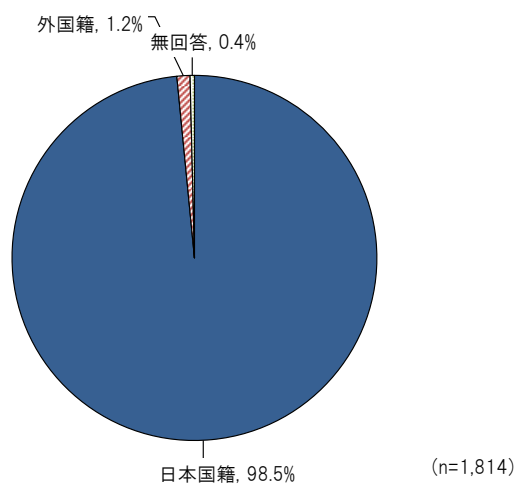


図表 3 回答方法別の年齢構成



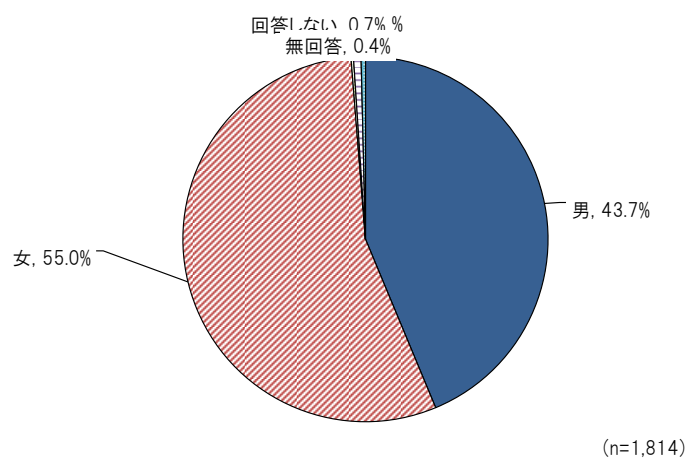
問A 国籍

図表 4 国籍



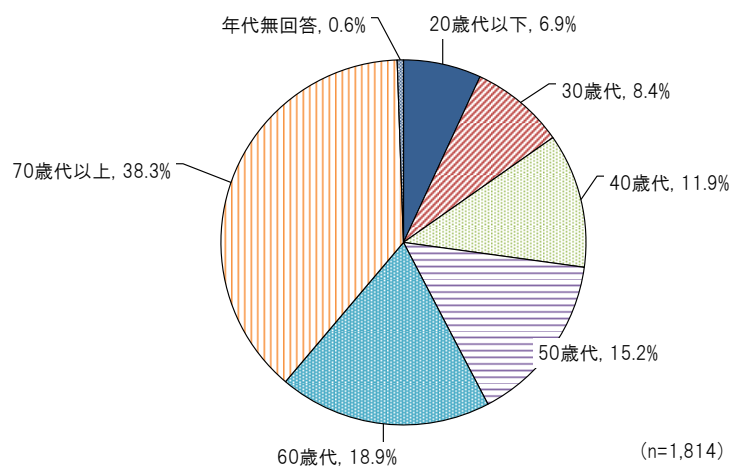
問B 性別

図表 5 性別



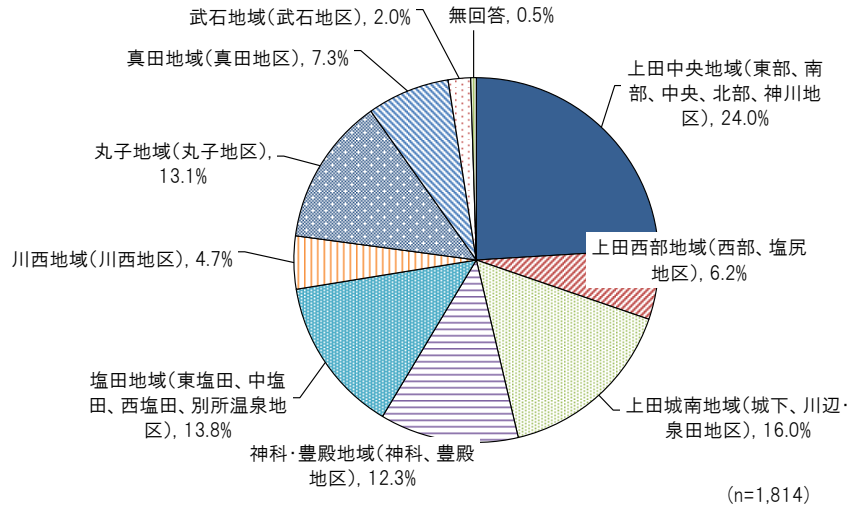
問C 年齢

図表 6 年齢層



問D お住まいの地域

図表 7 居住地域

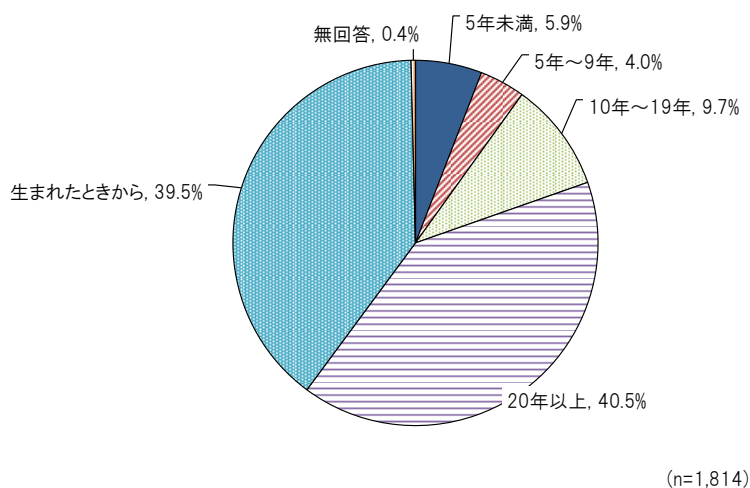


図表 8 【居住地域別】年代

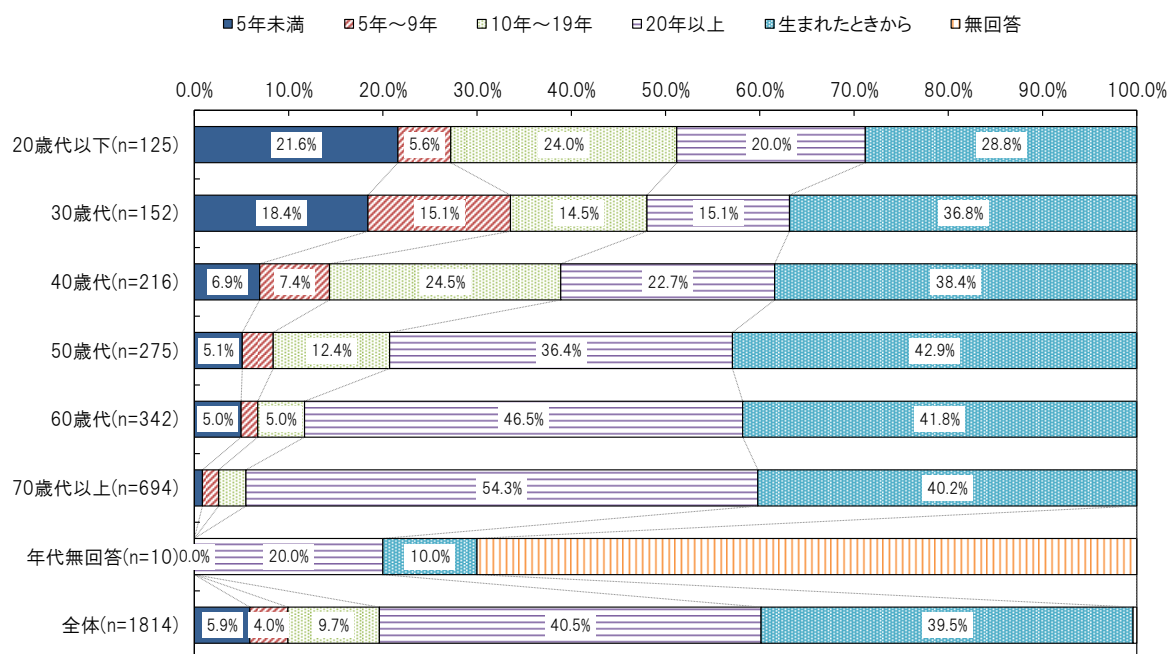
	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
20歳代以下	10.8%	6.2%	6.9%	4.5%	5.2%	7.1%	5.9%	5.3%	2.8%	0.0%	6.9%
30歳代	10.8%	8.0%	9.6%	9.4%	8.0%	8.2%	4.2%	6.0%	5.6%	0.0%	8.4%
40歳代	14.7%	9.7%	10.7%	10.8%	10.8%	11.8%	13.1%	12.0%	5.6%	0.0%	11.9%
50歳代	15.1%	14.2%	15.5%	17.0%	15.1%	12.9%	16.5%	12.8%	11.1%	11.1%	15.2%
60歳代	16.7%	18.6%	18.6%	19.7%	18.3%	18.8%	18.1%	27.8%	19.4%	11.1%	18.9%
70歳代以上	31.7%	43.4%	38.8%	37.7%	42.6%	41.2%	42.2%	36.1%	55.6%	0.0%	38.3%
年代無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	0.6%

問E 上田市での居住期間

図表 9 上田市における居住年数

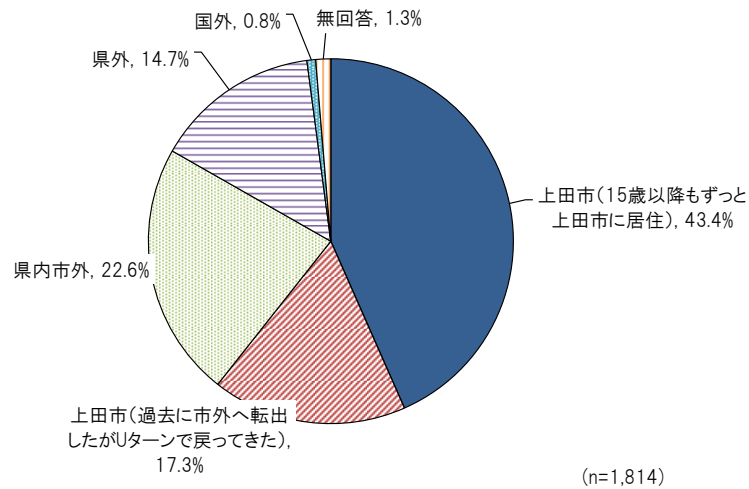


図表 10 【年代別】上田市における居住年数

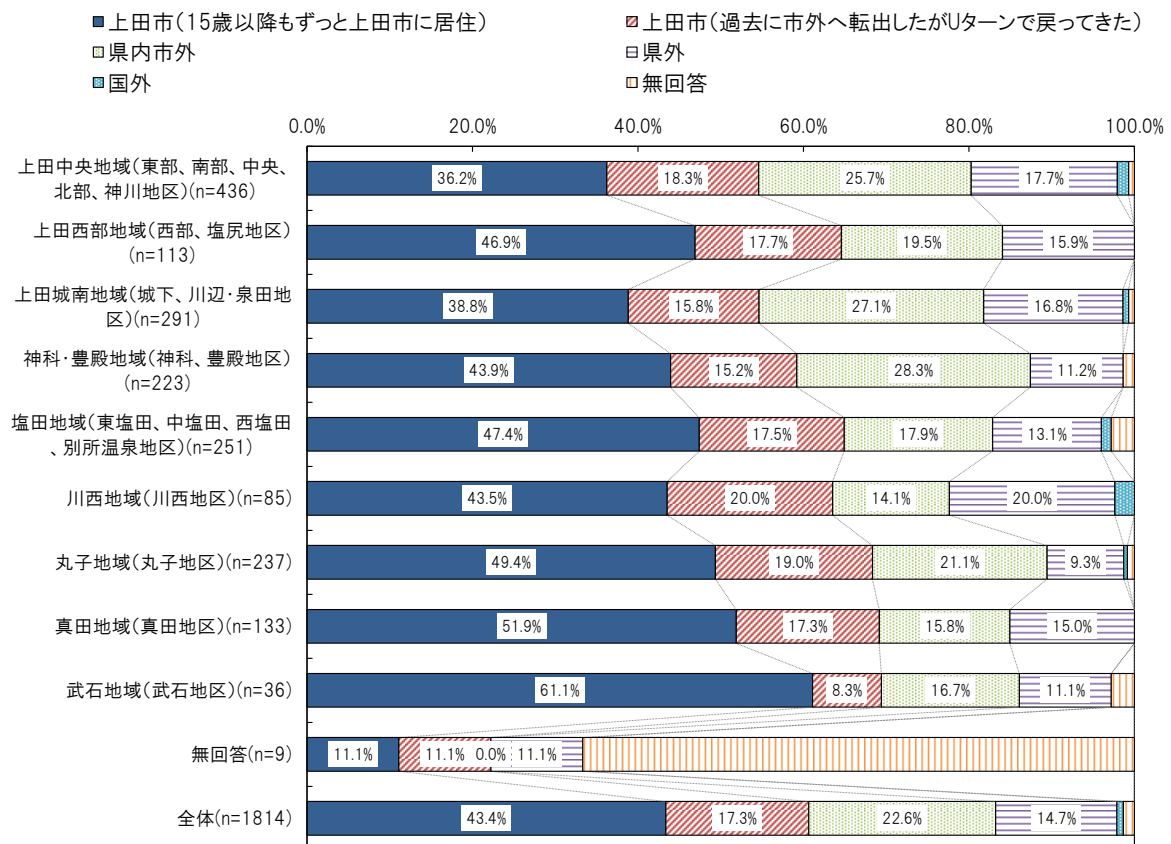


問F 出身地(15歳までに最も長く住んでいた場所)

図表 11 出身地

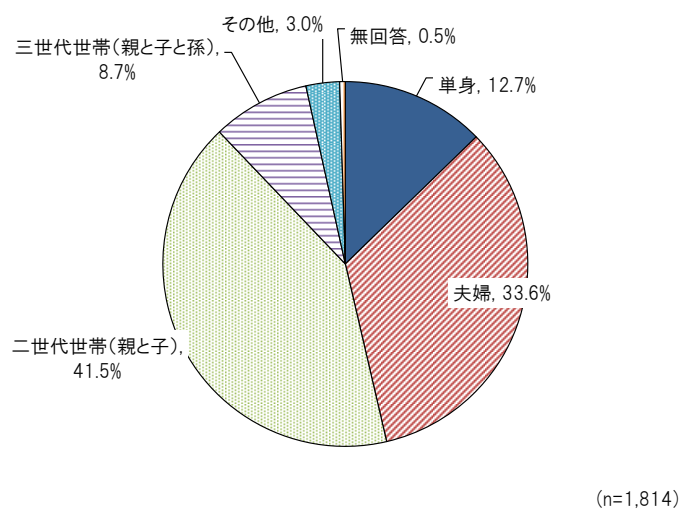


図表 12 【地区別】出身地

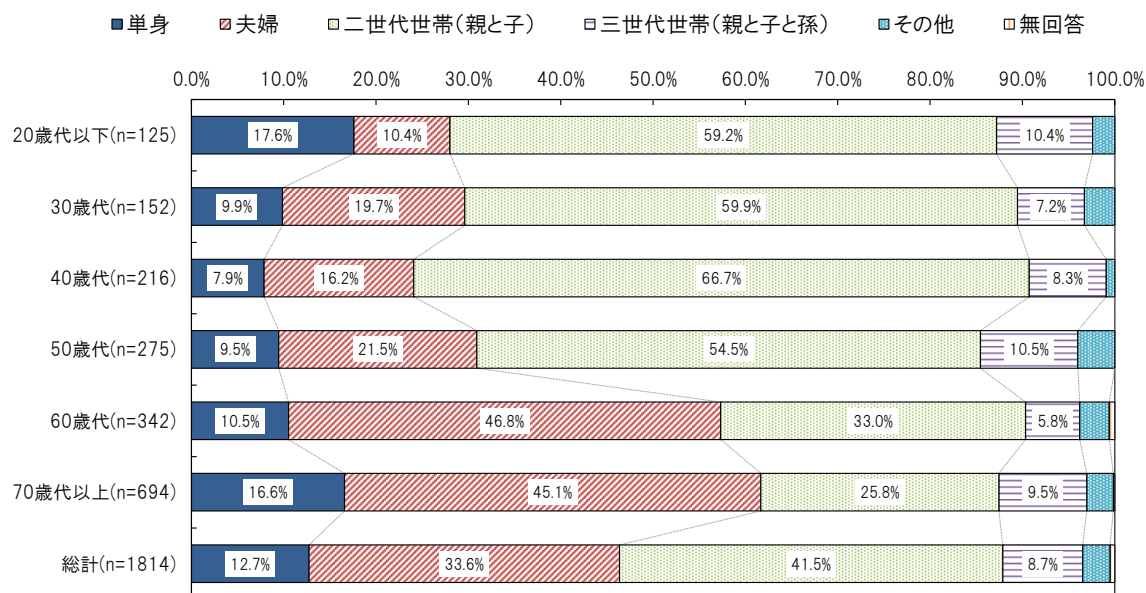


問G 世帯構成

図表 13 世帯構成

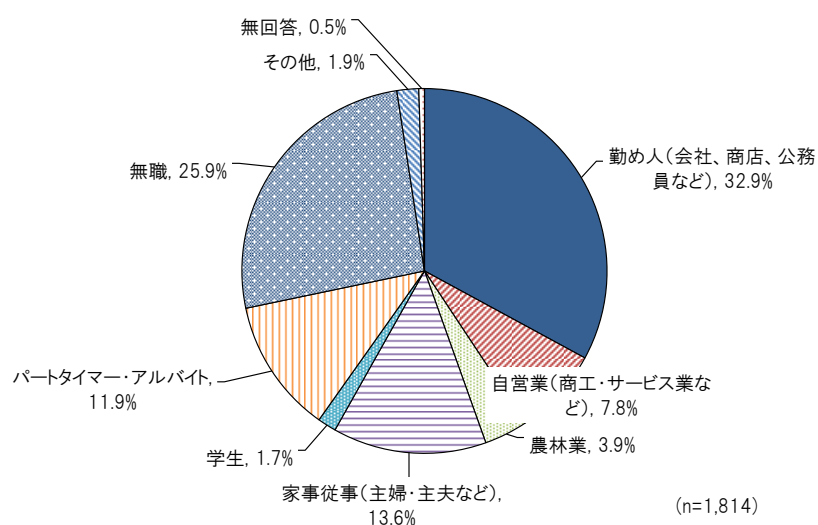


図表 14 【年代別】世帯構成

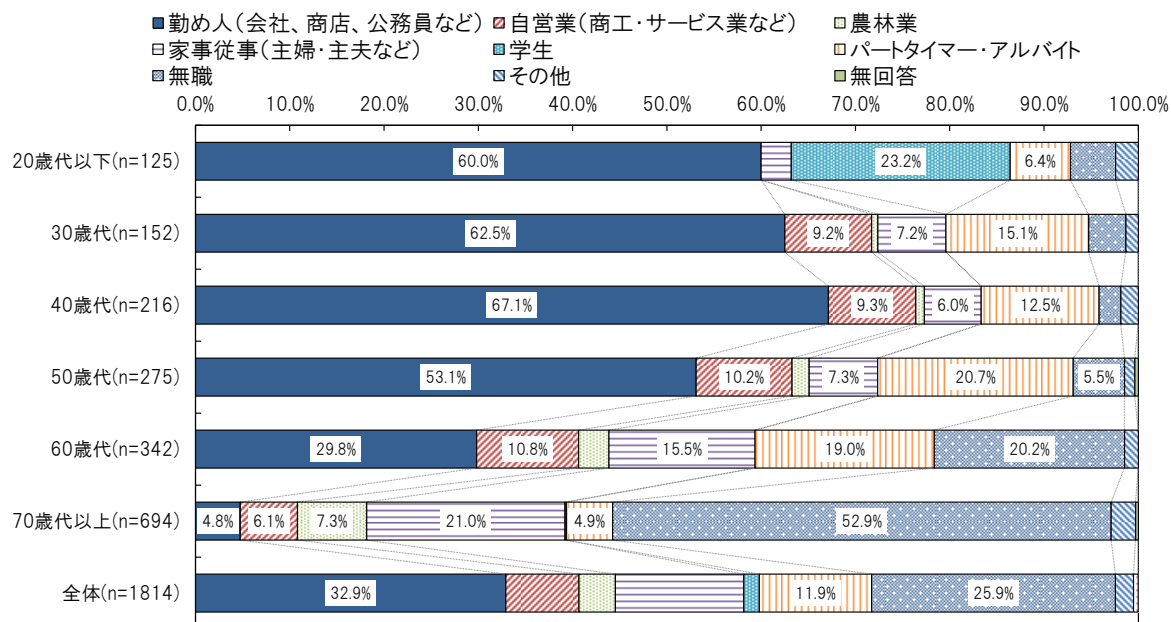


問H 職業

図表 15 職業



図表 16 【年代別】職業

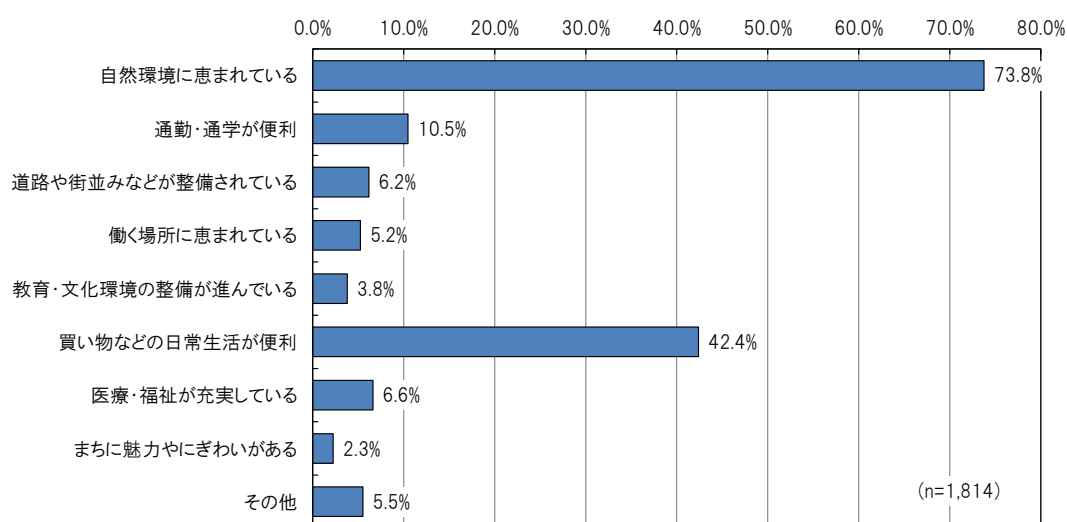


2 上田市の住みやすさについて

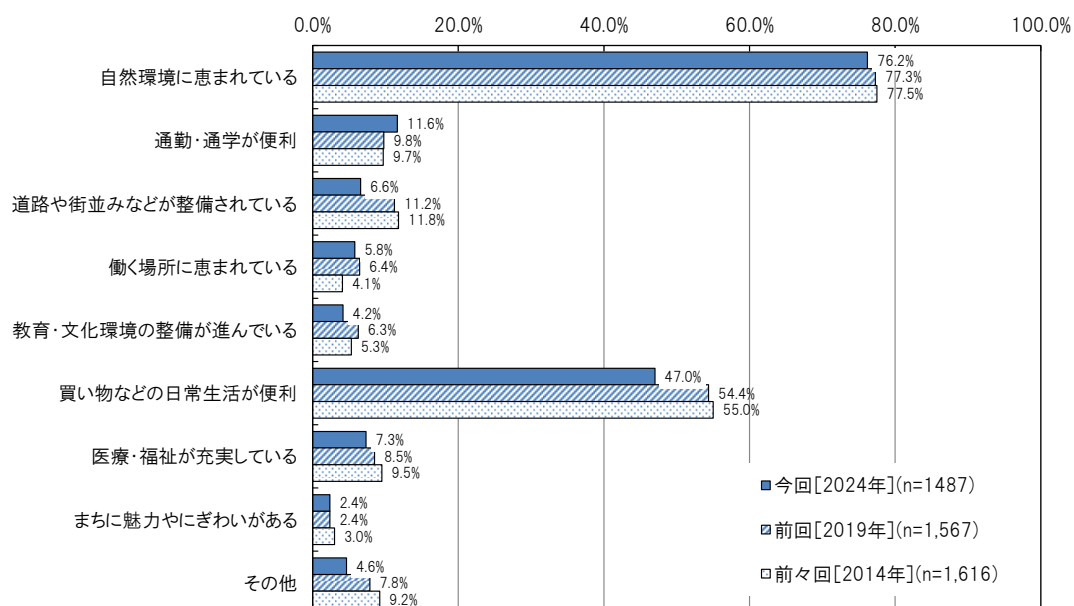
問1 上田市が住みやすいと感じるのはどのようなところですか(2つまで選択)。

- 上田市が住みやすいと感じる理由をみると、「自然環境に恵まれている」が73.8%と突出して高く、次いで「買い物などの日常生活が便利」が42.4%と高い。
- 過去の調査と比較するため問3で「大変住みやすい」「まあまあ住みやすい」と回答した方を対象に集計した結果をみると、概ね過去調査と同様の傾向となった。

図表 17 上田市が住みやすいと感じる理由



図表 18 【前回、前々回比較】上田市が住みやすいと感じる理由(“住みやすい”と回答した方を対象)



- 年代別にみると、30代は他の年代に比べ「買い物などの日常生活が便利」(48.7%)、「通勤・通学が便利」(17.1%)等が高くなっている。

図表 19 【性別】上田市が住みやすいと感じる理由

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれている	74.4%	74.0%	50.0%	58.3%	0.0%	73.8%
通勤・通学が便利	11.1%	10.1%	0.0%	8.3%	0.0%	10.5%
道路や街並みなどが整備されている	5.7%	6.6%	0.0%	8.3%	0.0%	6.2%
働く場所に恵まれている	6.3%	4.3%	50.0%	0.0%	0.0%	5.2%
教育・文化環境の整備が進んでいる	4.2%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
買い物などの日常生活が便利	40.0%	44.8%	25.0%	33.3%	0.0%	42.4%
医療・福祉が充実している	7.4%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.6%
まちに魅力やにぎわいがある	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
その他	6.9%	4.3%	25.0%	8.3%	0.0%	5.5%

図表 20 【年代別】上田市が住みやすいと感じる理由

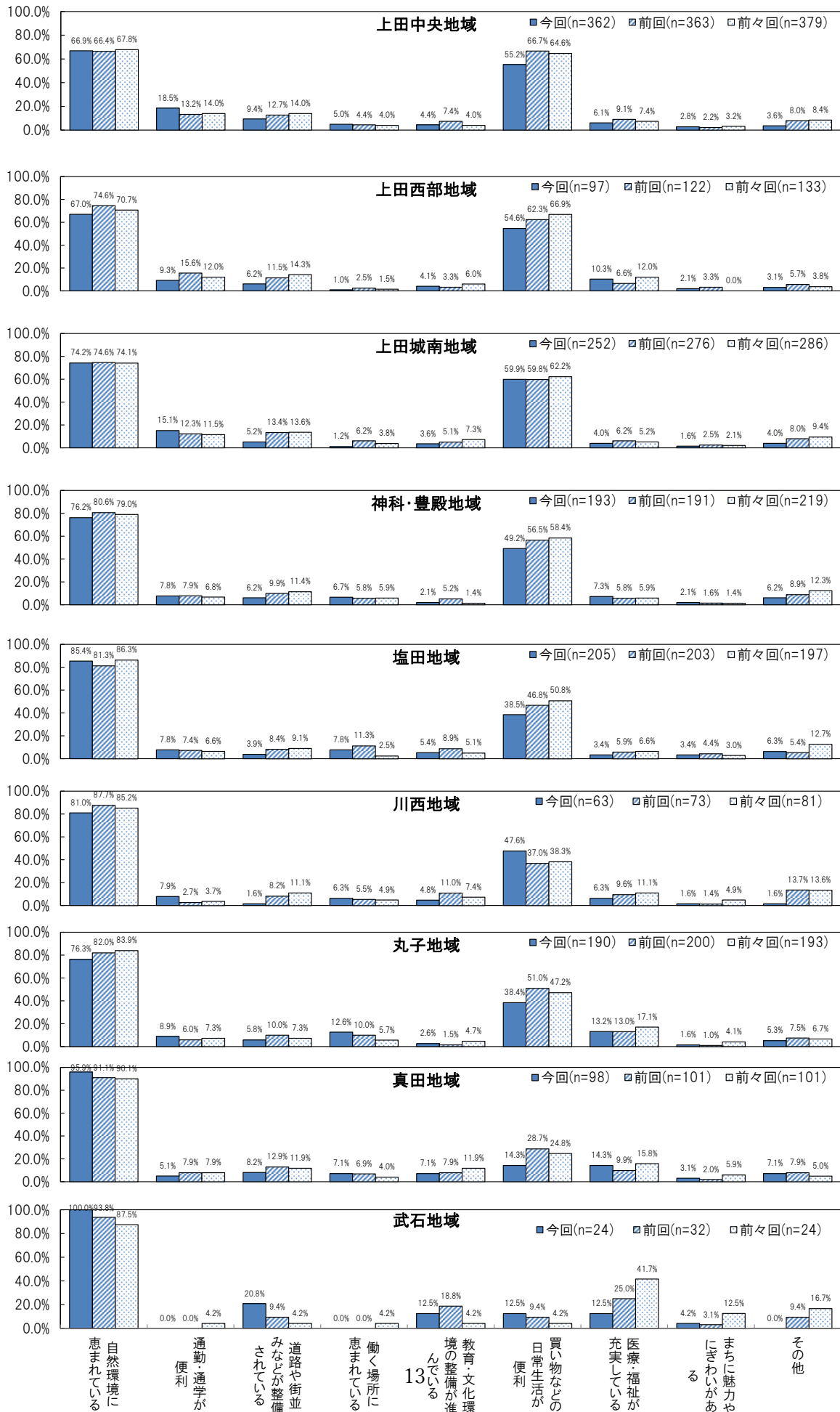
	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれている	68.0%	66.4%	71.3%	74.5%	78.4%	75.4%	20.0%	73.8%
通勤・通学が便利	13.6%	17.1%	16.2%	10.5%	12.3%	5.6%	20.0%	10.5%
道路や街並みなどが整備されている	9.6%	8.6%	5.6%	5.5%	5.0%	6.2%	0.0%	6.2%
働く場所に恵まれている	6.4%	2.0%	6.0%	4.4%	7.6%	4.8%	0.0%	5.2%
教育・文化環境の整備が進んでいる	4.0%	3.9%	1.9%	2.5%	2.3%	5.6%	0.0%	3.8%
買い物などの日常生活が便利	44.8%	48.7%	39.8%	36.4%	41.2%	44.7%	20.0%	42.4%
医療・福祉が充実している	4.8%	4.6%	2.8%	5.5%	3.2%	10.8%	0.0%	6.6%
まちに魅力やにぎわいがある	8.0%	3.3%	3.7%	1.5%	1.2%	1.4%	0.0%	2.3%
その他	4.0%	5.9%	6.5%	5.5%	5.6%	5.5%	0.0%	5.5%

- 地域別に住みやすいと感じる理由をみると、真田地域、武石地域では、「自然環境に恵まれている」の回答割合がともに 90%超と高い一方で、「買い物などの日常生活が便利」は市全体と比べそれぞれ 13.5%（28.9 ポイント差）、8.3%（34.1 ポイント差）と低い。
- また、丸子地域、真田地域、武石地域では「医療・福祉が充実している」の回答割合が市全体（6.6%）に比べ高く、10%以上が回答している。

図表 21 【居住地域別】上田市が住みやすいと感じる理由

	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれている	65.4%	65.5%	71.5%	75.3%	82.5%	76.5%	73.8%	90.2%	91.7%	33.3%	73.8%
通勤・通学が便利	16.3%	13.3%	14.1%	7.2%	7.2%	5.9%	7.2%	4.5%	0.0%	11.1%	10.5%
道路や街並みなどが整備されている	7.8%	5.3%	5.5%	7.2%	3.6%	4.7%	5.1%	7.5%	13.9%	0.0%	6.2%
働く場所に恵まれている	4.6%	0.9%	1.4%	7.2%	6.8%	5.9%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	5.2%
教育・文化環境の整備が進んでいる	3.9%	3.5%	3.8%	2.2%	5.2%	3.5%	2.5%	5.3%	8.3%	0.0%	3.8%
買い物などの日常生活が便利	52.3%	50.4%	54.6%	43.9%	33.9%	40.0%	36.3%	13.5%	8.3%	11.1%	42.4%
医療・福祉が充実している	5.0%	8.8%	4.1%	6.7%	3.6%	4.7%	11.8%	12.0%	11.1%	0.0%	6.6%
まちに魅力やにぎわいがある	2.3%	1.8%	2.1%	1.8%	2.8%	2.4%	2.5%	2.3%	2.8%	0.0%	2.3%
その他	4.6%	3.5%	5.5%	7.2%	7.2%	2.4%	5.5%	7.5%	2.8%	0.0%	5.5%

図表 22 【居住地域別、前回、前々回比較】上田市が住みやすいと感じる理由(問3で“住みやすい”と回答した方を対象)



- 出身地別に住みやすいと感じる理由をみると、「県外出身者」は、上田市出身者に比べて「自然環境に恵まれている」の回答割合が80.5%と高い。
- 「県内市外出身者」は、上田市出身者に比べ「買い物などの日常生活が便利」の回答割合が50.7%と高い。

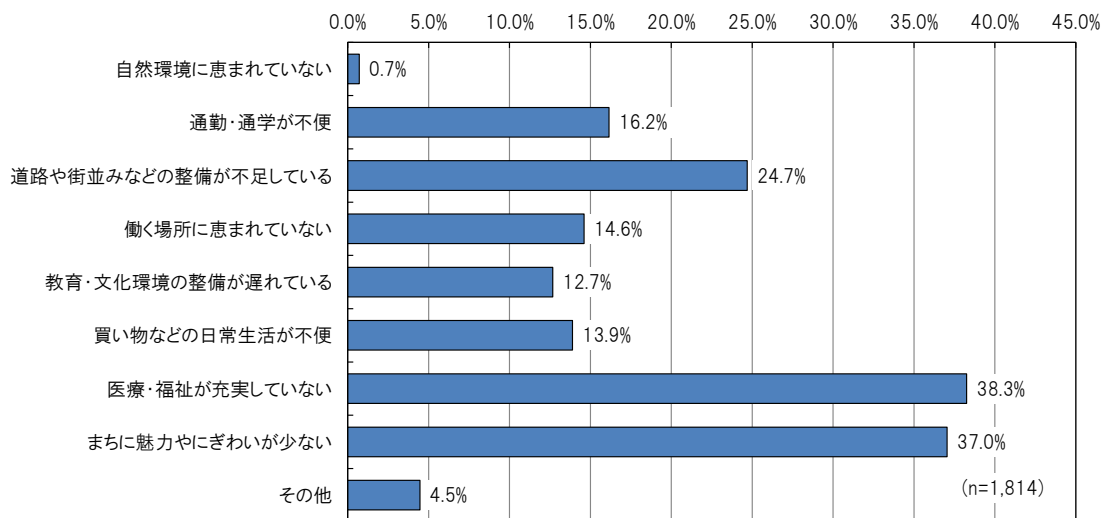
図表 23 【出身地別】上田市が住みやすいと感じる理由

	上田市(15歳以降もずっと上田市に居住) (n=787)	上田市(過去に市外へ転出したがUターンで戻ってきた) (n=313)	県内市外 (n=410)	県外(n=266)	国外(n=14)	無回答(n=24)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれている	77.6%	73.5%	63.4%	80.5%	71.4%	54.2%	73.8%
通勤・通学が便利	9.4%	11.2%	14.1%	6.0%	28.6%	12.5%	10.5%
道路や街並みなどが整備されている	7.9%	4.5%	4.9%	4.9%	21.4%	0.0%	6.2%
働く場所に恵まれている	5.2%	4.8%	5.6%	4.1%	28.6%	4.2%	5.2%
教育・文化環境の整備が進んでいる	4.6%	3.5%	2.4%	3.8%	7.1%	4.2%	3.8%
買い物などの日常生活が便利	39.0%	44.4%	50.7%	39.1%	28.6%	29.2%	42.4%
医療・福祉が充実している	5.6%	6.4%	8.8%	6.8%	7.1%	4.2%	6.6%
まちに魅力やにぎわいがある	1.7%	2.9%	2.4%	3.4%	0.0%	0.0%	2.3%
その他	2.8%	5.8%	9.5%	7.1%	0.0%	8.3%	5.5%

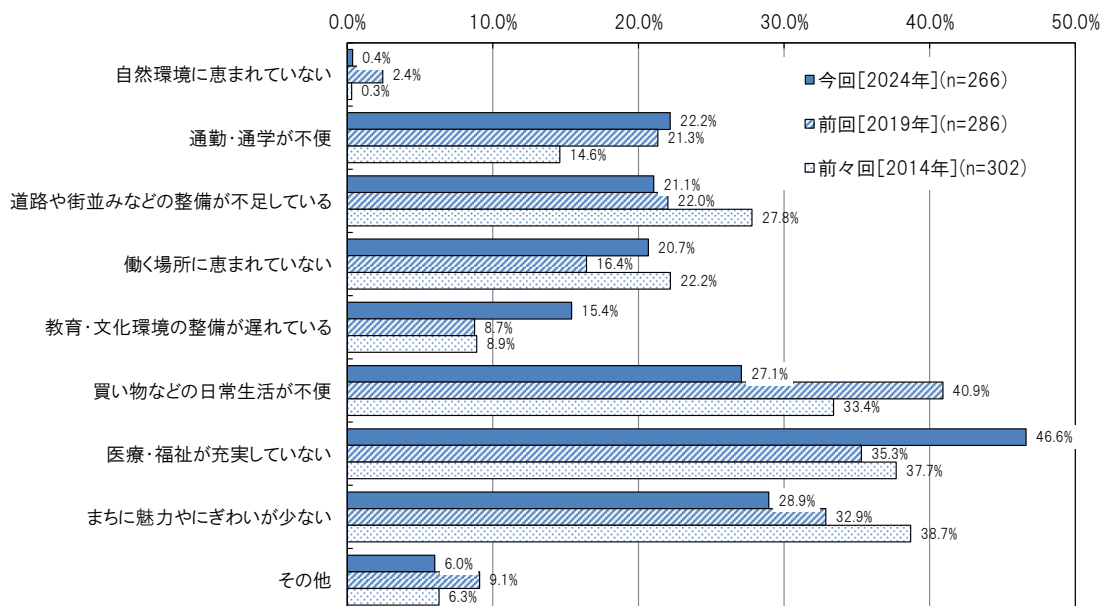
問2 上田市が住みにくいと感じるのはどのようなところですか(2つまで選択)。

- 上田市が住みにくいと感じる理由をみると、「医療・福祉が充実していない」が 38.3%、「まちに魅力やにぎわいが少ない」が 37.0%と高く、これらに次いで「道路や街並みなどの整備が不足している」(24.7%) が高い結果となった。
- 過去の調査と比較するため問3で「住みにくい」「やや住みにくい」と回答した方を対象に集計した結果をみると、前回調査と比べ「買い物などの日常生活が不便」の回答割合が減少した一方、「医療・福祉が充実していない」の回答割合が増加した。

図表 24 上田市が住みにくいと感じる理由



図表 25 【前回、前々回比較】上田市が住みにくいと感じる理由(“住みにくい”と回答した方を対象)



- 年代別にみると、年代が高いほど「まちに魅力やにぎわいが少ない」の回答割合が概ね高い傾向にあり、70歳以上では41.8%が回答している。
- 20歳代以下では、「通勤・通学が不便」の回答割合が32.8%と最も高い。
- 30歳代では、「医療・福祉が充実していない」(43.4%)に次いで、「道路や街並みなどの整備が不足している」(27.6%)が高い。

図表 26 【性別】上田市が住みにくと感じる理由

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれていない	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
通勤・通学が不便	15.3%	16.7%	25.0%	33.3%	0.0%	16.2%
道路や街並みなどの整備が不足している	26.9%	23.2%	0.0%	25.0%	0.0%	24.7%
働く場所に恵まれていない	14.8%	14.4%	25.0%	25.0%	0.0%	14.6%
教育・文化環境の整備が遅れている	13.2%	12.4%	0.0%	8.3%	0.0%	12.7%
買い物などの日常生活が不便	14.5%	13.6%	0.0%	8.3%	0.0%	13.9%
医療・福祉が充実していない	34.2%	41.7%	75.0%	33.3%	0.0%	38.3%
まちに魅力やにぎわいが少ない	38.1%	36.6%	0.0%	41.7%	0.0%	37.0%
その他	5.3%	3.8%	0.0%	8.3%	0.0%	4.5%

図表 27 【年代別】上田市が住みにくと感じる理由

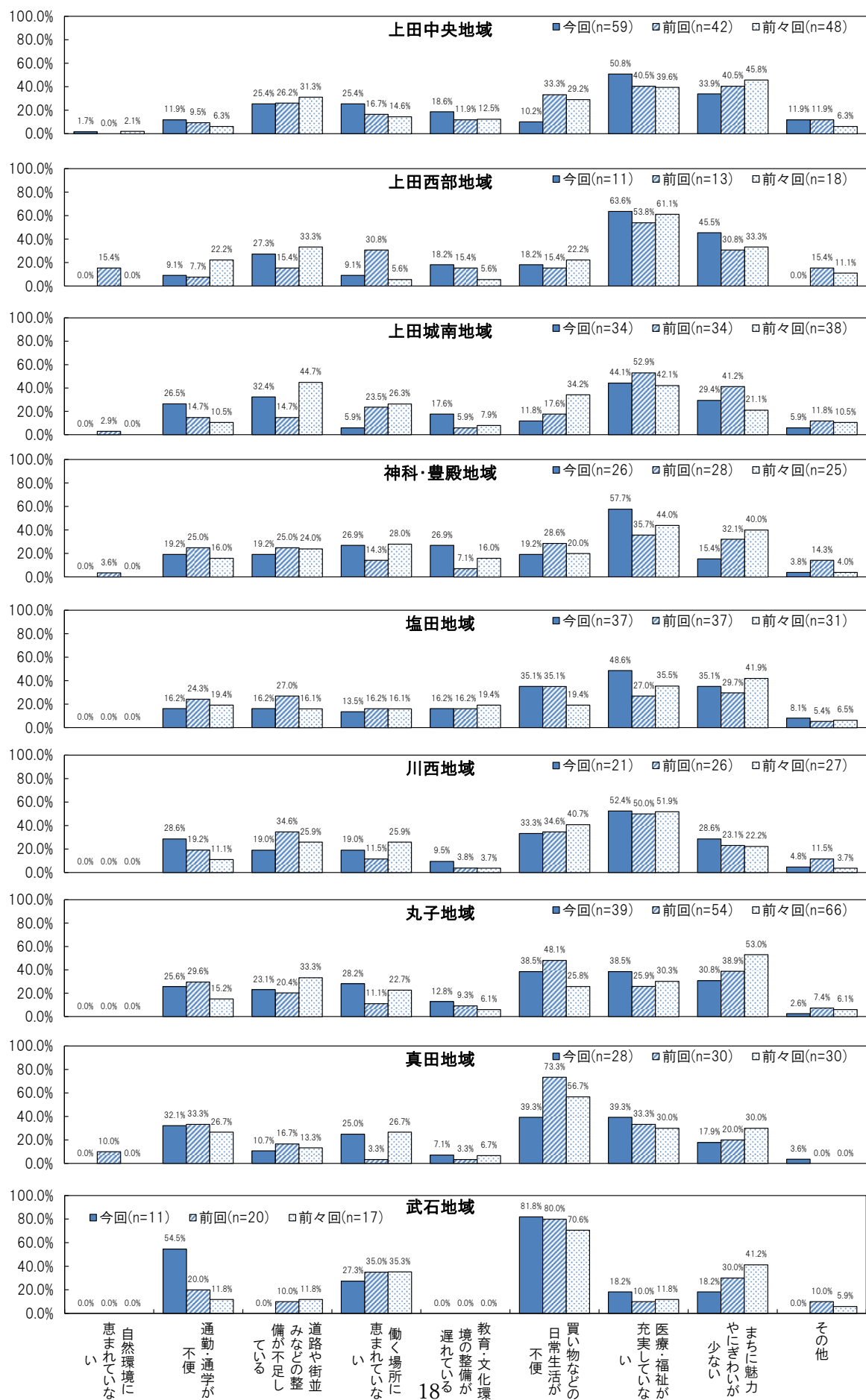
	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれていない	0.0%	0.7%	0.0%	0.4%	1.5%	0.9%	0.0%	0.7%
通勤・通学が不便	32.8%	20.4%	21.8%	15.6%	17.3%	10.4%	0.0%	16.2%
道路や街並みなどの整備が不足している	22.4%	27.6%	25.9%	29.1%	25.7%	21.9%	20.0%	24.7%
働く場所に恵まれていない	20.8%	22.4%	16.7%	16.4%	12.0%	11.8%	10.0%	14.6%
教育・文化環境の整備が遅れている	15.2%	23.0%	21.3%	10.5%	13.7%	7.8%	0.0%	12.7%
買い物などの日常生活が不便	12.0%	7.2%	9.3%	11.3%	11.4%	19.6%	0.0%	13.9%
医療・福祉が充実していない	24.0%	43.4%	37.5%	37.8%	46.8%	36.2%	20.0%	38.3%
まちに魅力やにぎわいが少ない	28.0%	23.0%	28.2%	40.0%	40.9%	41.8%	10.0%	37.0%
その他	6.4%	6.6%	4.6%	5.8%	3.2%	3.7%	0.0%	4.5%

- 地域別に住みにくいと感じる理由をみると、上田城南地域、神科・豊殿地域、塩田地域、川西地域では「医療・福祉が充実していない」の回答割合が最も高く、いずれも 40%以上が回答している。
- 武石地域、真田地域では、「買い物などの日常生活が不便」の回答割合がそれぞれ 58.3%、35.3%と高くなっている。

図表 28 【居住地域別】上田市が住みにくいとを感じる理由

	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれていない	0.9%	2.7%	1.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.7%
通勤・通学が不便	9.4%	7.1%	11.3%	16.6%	13.1%	30.6%	26.6%	28.6%	38.9%	0.0%	16.2%
道路や街並みなどの整備が不足している	25.0%	19.5%	26.8%	27.8%	25.1%	20.0%	27.0%	21.1%	13.9%	0.0%	24.7%
働く場所に恵まれていない	17.4%	10.6%	13.1%	13.9%	13.9%	16.5%	14.8%	12.0%	22.2%	0.0%	14.6%
教育・文化環境の整備が遅れている	14.7%	15.9%	11.7%	14.3%	11.6%	15.3%	12.7%	6.8%	2.8%	0.0%	12.7%
買い物などの日常生活が不便	7.1%	7.1%	6.9%	8.5%	19.1%	20.0%	17.3%	35.3%	58.3%	0.0%	13.9%
医療・福祉が充実していない	40.4%	39.8%	42.3%	42.6%	42.2%	42.4%	24.1%	37.6%	16.7%	0.0%	38.3%
まちに魅力やにぎわいが少ない	40.6%	41.6%	35.4%	40.4%	33.9%	31.8%	42.2%	27.1%	19.4%	0.0%	37.0%
その他	5.3%	3.5%	5.8%	4.0%	3.2%	1.2%	6.3%	3.0%	0.0%	0.0%	4.5%

図表 29 【居住地域別、前回、前々回比較】上田市が住みにくいと感じる理由(問3で“住みにくい”と回答した方を対象)



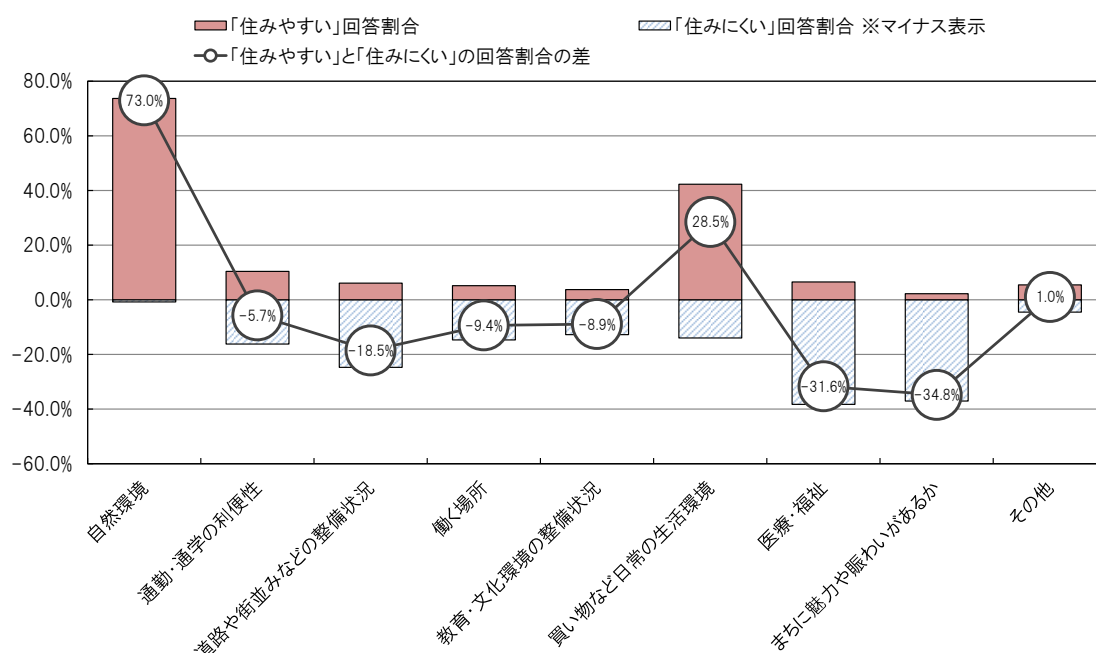
- 出身地別に住みにくいと感じる理由をみると、「県内市外出身者」は、「上田市出身者（15歳以降もずっと上田市に居住）」に比べて「道路や街並みなどの整備が不足している」「医療・福祉が充実していない」等の回答割合が高い結果となった。
- また、「上田市（過去に市外へ転出したが U ターンで戻ってきた）」は、「上田市出身者（15歳以降もずっと上田市に居住）」に比べて「働く場所に恵まれていない」「医療・福祉が充実していない」等の回答割合が高い結果となった。

図表 30 【出身地別】上田市が住みにくいと感じる理由

	上田市(15歳以降もずっと上田市に居住) (n=787)	上田市(過去に市外へ転出したがUターンで戻ってきた) (n=313)	県内市外 (n=410)	県外(n=266)	国外(n=14)	無回答(n=24)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれていない	0.8%	0.6%	1.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.7%
通勤・通学が不便	18.7%	15.3%	13.7%	13.9%	0.0%	20.8%	16.2%
道路や街並みなどの整備が不足している	23.5%	24.6%	27.3%	25.9%	21.4%	8.3%	24.7%
働く場所に恵まれていない	13.9%	21.1%	11.0%	14.7%	28.6%	8.3%	14.6%
教育・文化環境の整備が遅れている	12.1%	14.7%	12.9%	12.4%	7.1%	8.3%	12.7%
買い物などの日常生活が不便	16.0%	12.8%	9.5%	15.8%	7.1%	16.7%	13.9%
医療・福祉が充実していない	36.5%	44.7%	40.0%	32.7%	28.6%	50.0%	38.3%
まちに魅力やにぎわいが少ない	37.9%	38.7%	38.0%	33.5%	28.6%	16.7%	37.0%
その他	3.7%	4.2%	5.9%	4.5%	7.1%	8.3%	4.5%

- 項目別に、問1（住みやすいと感じる項目）と問2（住みにくいと感じる項目）の回答割合の差をみると、「自然環境」（73.0 ポイント差）、「買い物など日常の生活環境」（28.5 ポイント差）は、“住みやすい”評価が高くなっている。
- 一方で、「まちに魅力や賑わいがあるか」（▲34.8 ポイント差）、「医療・福祉」（▲31.6 ポイント差）は、“住みにくい”評価が高い項目となっている。

図表 31 項目別の住みやすさに関する回答状況(問1、問2の比較)

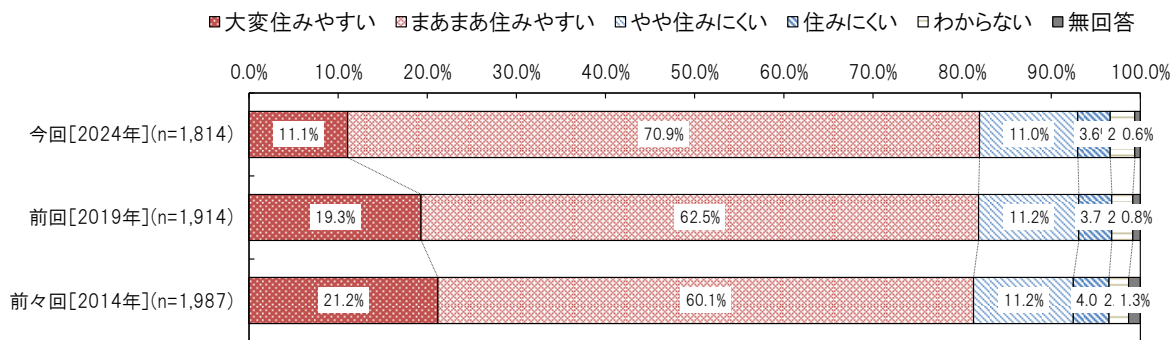


(注)「住みにくい」回答割合はマイナス表示をしている

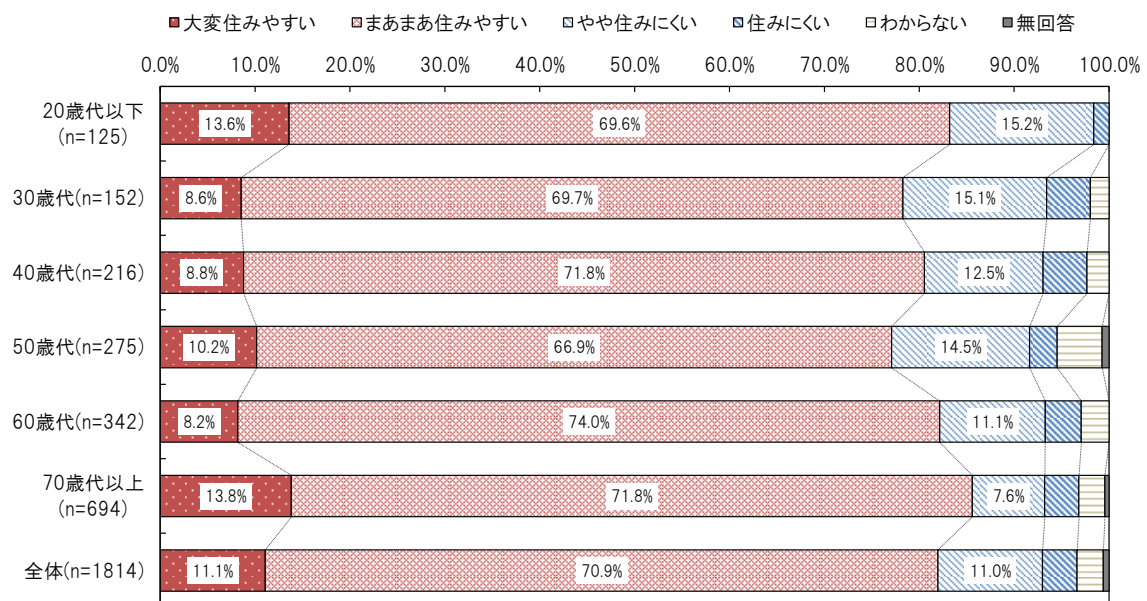
問3 上田市は住みやすいまちだと思いますか。

- 上田市に対し、8割を超える住民が「大変住みやすい」「まあまあ住みやすい」と回答しており、「住みにくい」「やや住みにくい」を合わせた回答割合（14.6%）を大きく上回っている。
- 前回調査と比較すると、「まあまあ住みやすい」と「大変住みやすい」を合算した回答割合（82.0%）は前回調査（81.8%）と概ね同程度であるが、「大変住みやすい」回答割合は11.1%と前回調査から8.2ポイント減少した。
- 年代別にみると、「大変すみやすい」「まあまあ住みやすい」の合計はいずれの年代も7割を超えており、特に「70歳代以上」「60歳代」「20歳代以下」等では8割を超えている。「大変住みやすい」は、他の年代に比べて「20歳代以下」「70歳代以上」で高い結果となった。

図表 32 上田市は住みやすいまちだと思うか

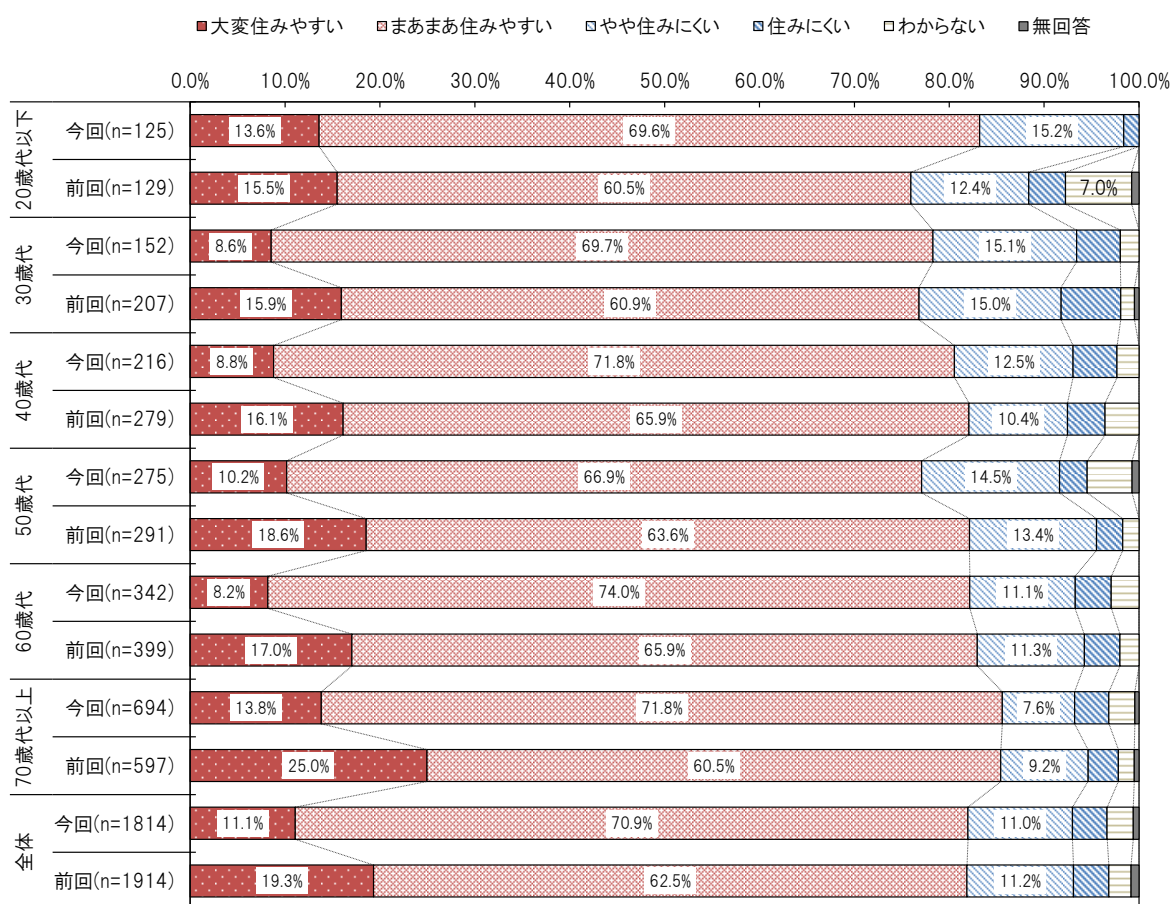


図表 33 【年代別】上田市は住みやすいまちだと思うか



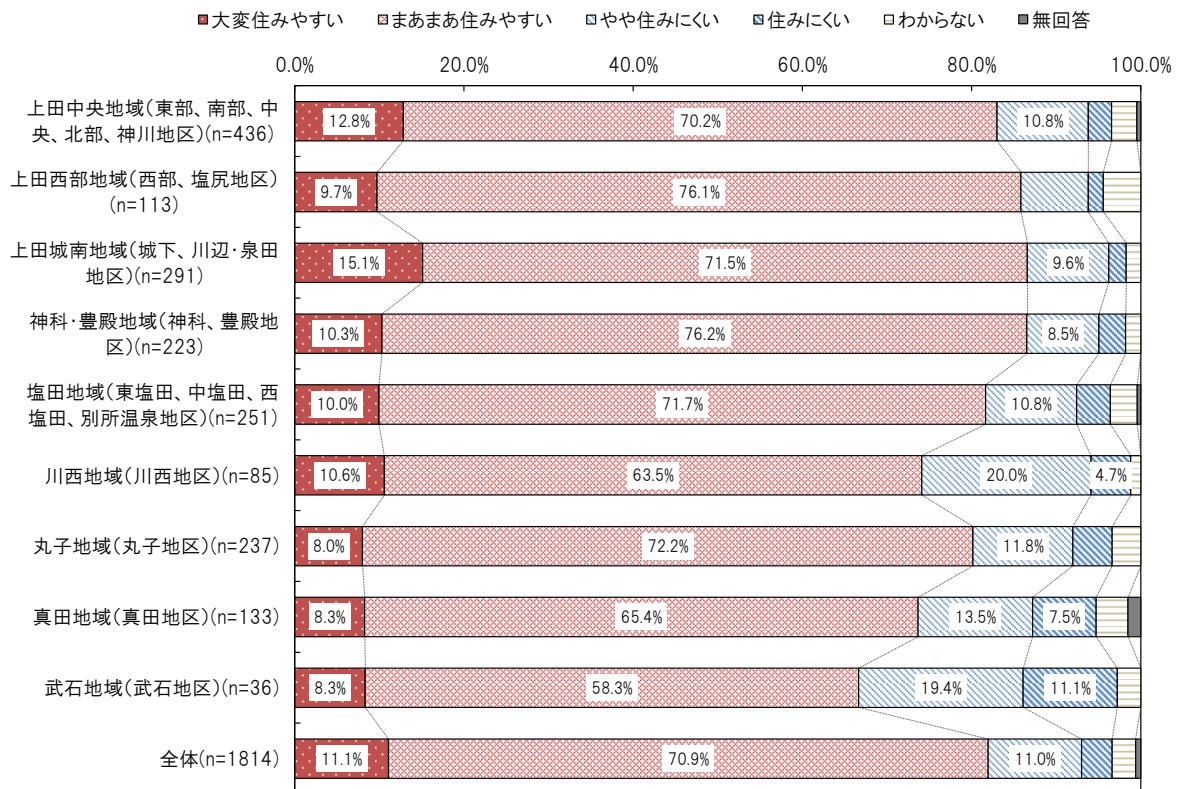
- 年代別に前回と比較してみると、「大変すみやすい」「まあまあすみやすい」の合計は年代によってさまざま（「20 歳代以下」「30 歳代」は増加、「40 歳代」「50 歳代」は減少等）であるが、「大変すみやすい」をみると、いずれの年代においても減少しており、特に「70 歳代以上」（▲11.1 ポイント）、「60 歳代」（▲8.9 ポイント）等で減少幅が大きい。

図表 34 【年代別、前回比較】上田市は住みやすいまちだと思うか



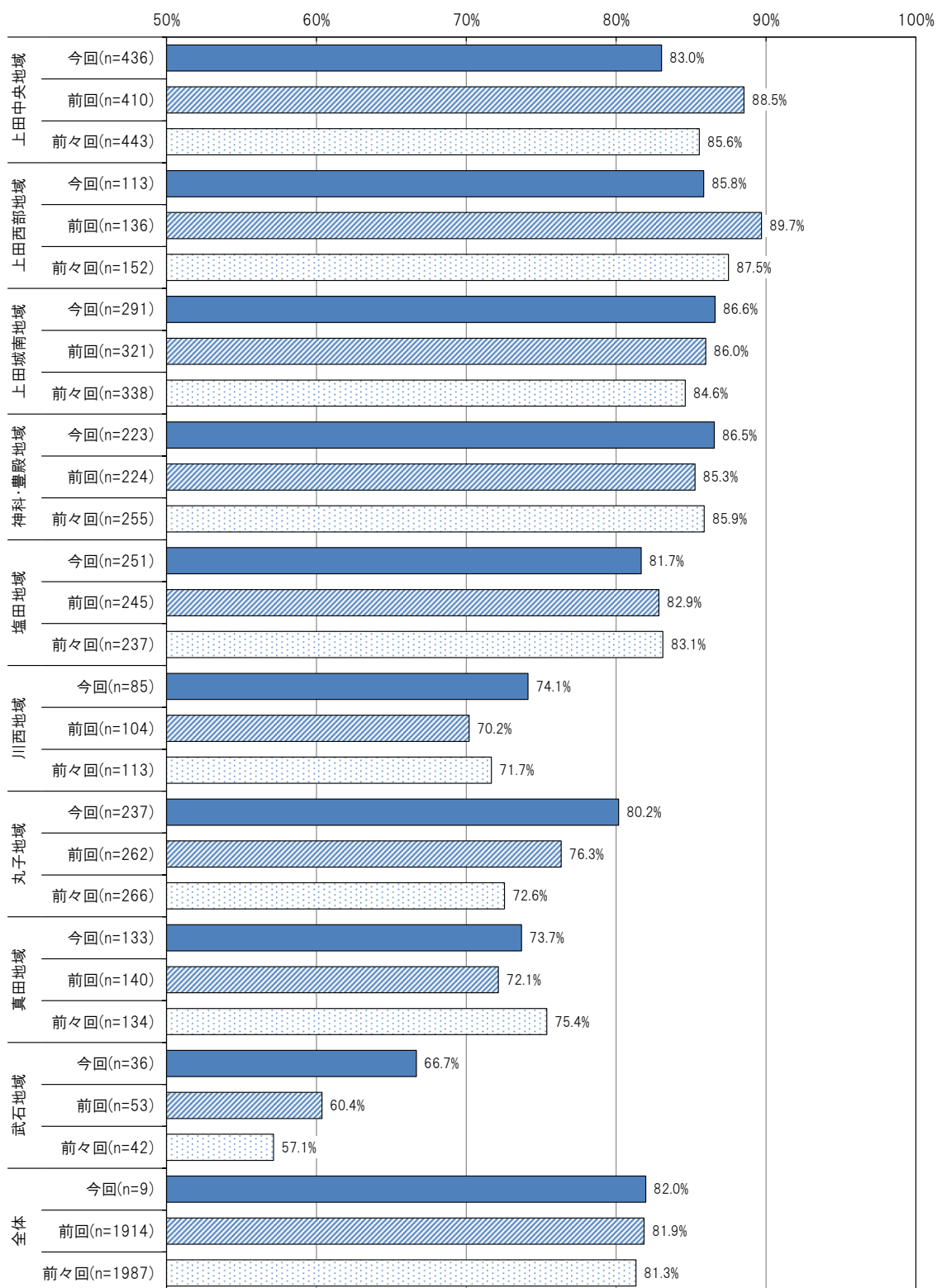
- 地域別にみると、「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合算した回答割合は、上田城南地域（86.6%）や神科・豊殿地域（86.5%）、上田西部地域（85.8%）などで高い結果となった。
- 一方、武石地域（66.6%）や川西地域（74.1%）などでは、「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合算した回答割合は市全体よりも低く、「やや住みにくい」と「住みにくい」を合算した回答割合もそれぞれ 30.5%、24.7%と他地域よりも高い結果となった。

図表 35 【居住地域別】上田市は住みやすいまちだと思うか



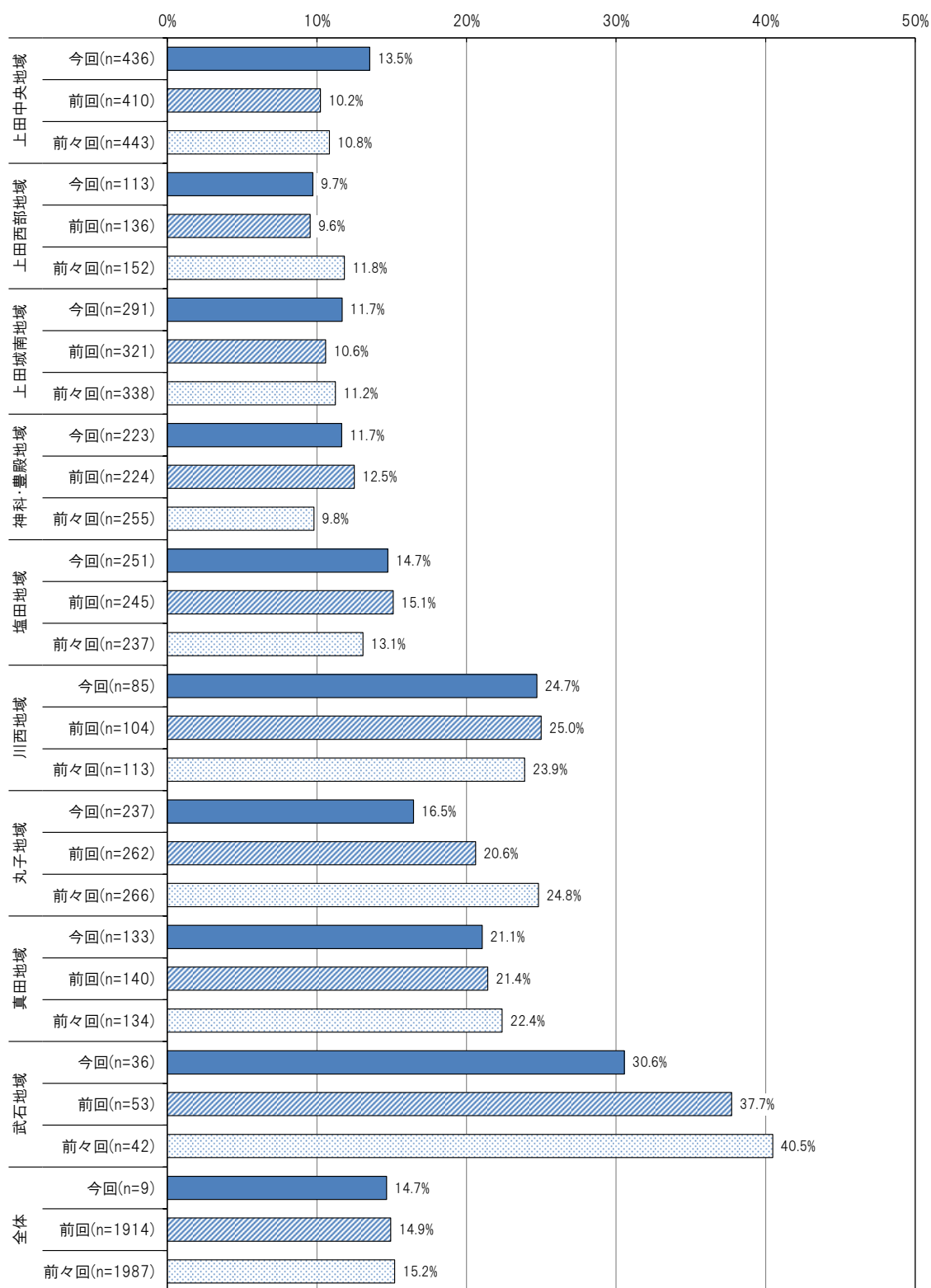
- 「大変住みやすい」「まあまあ住みやすい」を合わせた回答割合について過去の調査と比較してみると、「武石地域」(+6.3 ポイント)、「川西地域」(+3.9 ポイント)、「丸子地域」(+3.8%)などで前回調査より増加した。
- 一方で、「上田中央地域」(▲5.5 ポイント)、「上田西部地域」(▲3.9 ポイント)などでは、前回調査より減少した。

図表 36 【居住地域別】“住みやすい”回答割合の前回、前々回調査との比較(※「大変住みやすい」+「まあまあ住みやすい」)



- 「やや住みにくい」「住みにくい」を合わせた回答割合をみると、「丸子地域」(▲4.2 ポイント)、「武石地域」(▲7.2 ポイント)などで、前回調査に比べ減少(改善)した。

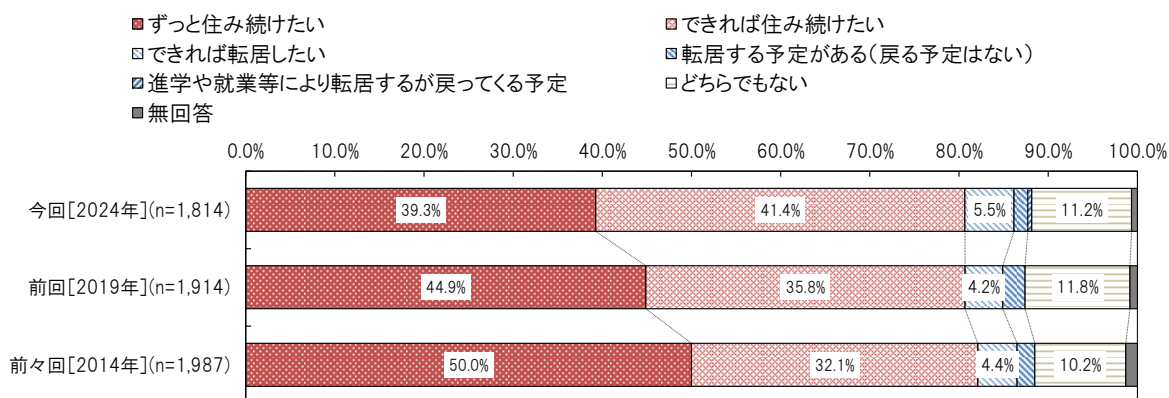
図表 37 【居住地域別】“住みにくい”回答割合の前回、前々回調査との比較(※「やや住みにくい」+「住みにくい」)



問4 今後も上田市に住み続けたいとお考えですか。

- ・ 今後も上田市に住み続けたいと思うか尋ねた設問では、「できれば住み続けたい」が41.4%と最も多く、「ずっと住み続けたい」(39.3%) と合わせると、80.7%が今後も住み続けたいと回答した。
- ・ 「ずっと住み続けたい」は前回調査と比較して5.6ポイント減少した。
- ・ 年代別にみると、概ね年代が高いほど住み続けたい回答割合が高い傾向がある。

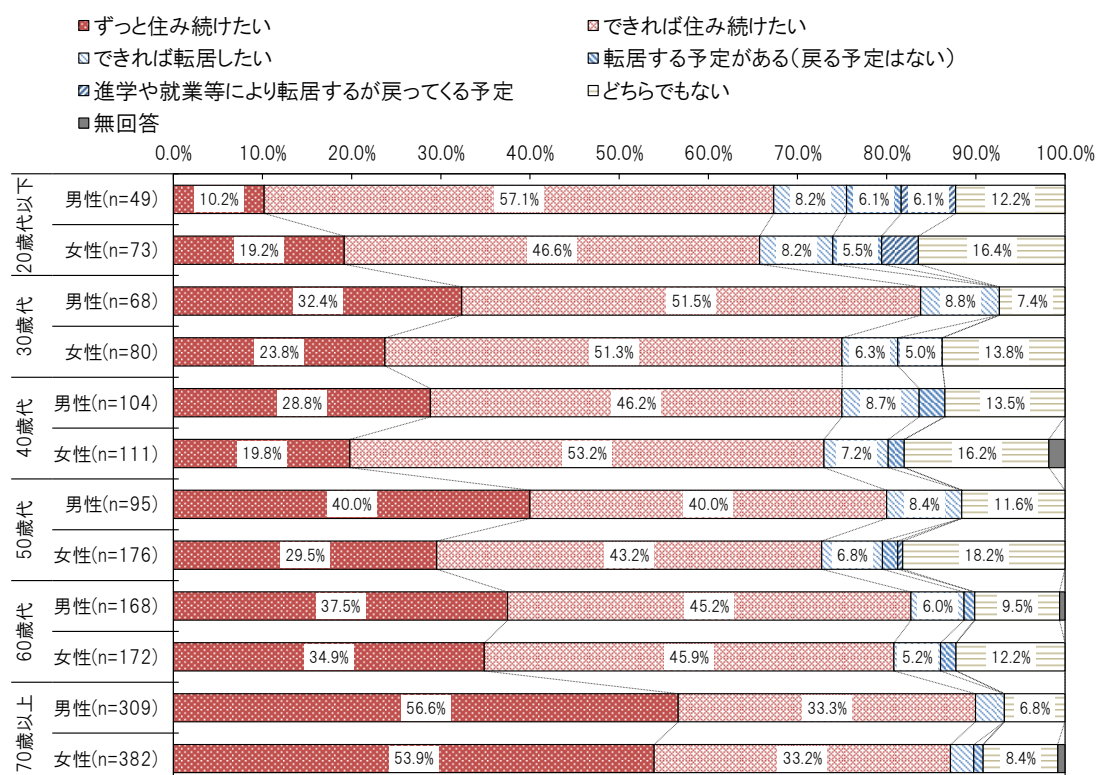
図表 38 今後も上田市に住み続けたいと思うか



(注1)「転居する予定がある(戻る予定はない)」は今回調査から回答項目として新設。過去の調査では「転居する予定がある」として訊いた。

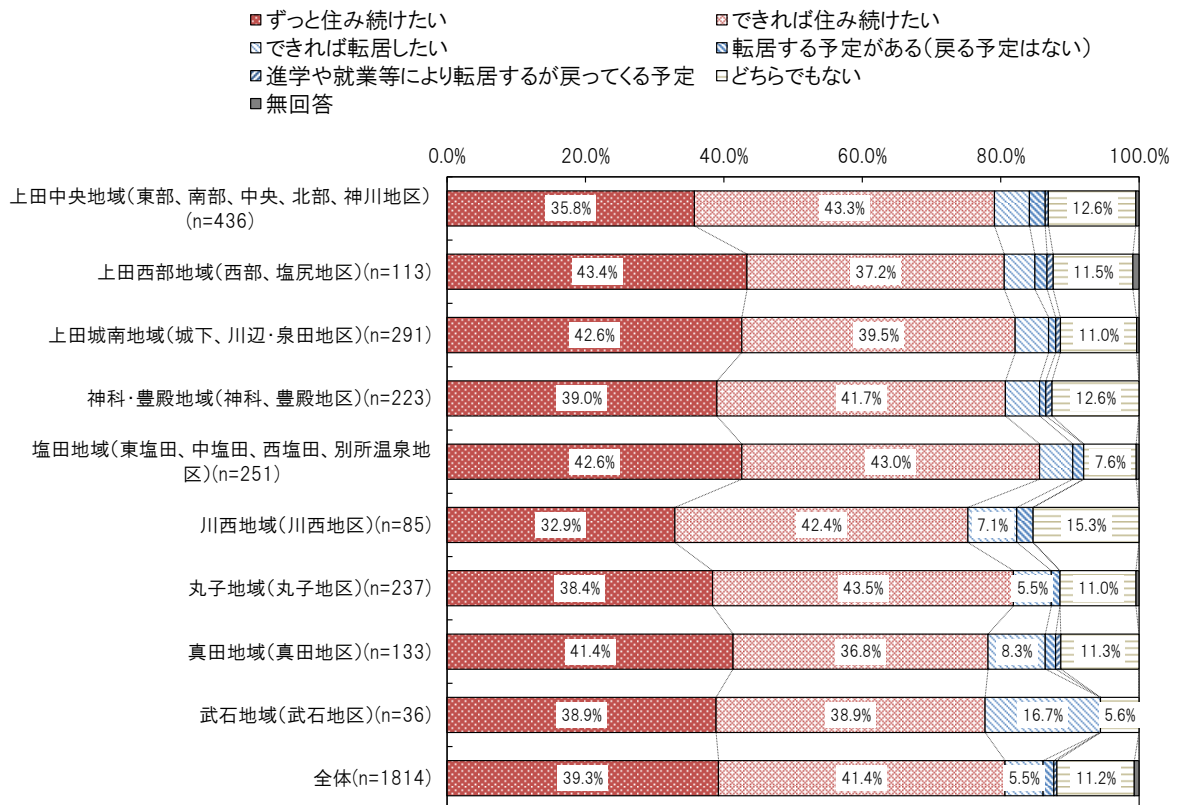
(注2)「進学や就業等により転居するが戻ってくる予定」は今回調査から回答項目として新設。

図表 39 【性別・年代別】今後も上田市に住み続けたいと思うか



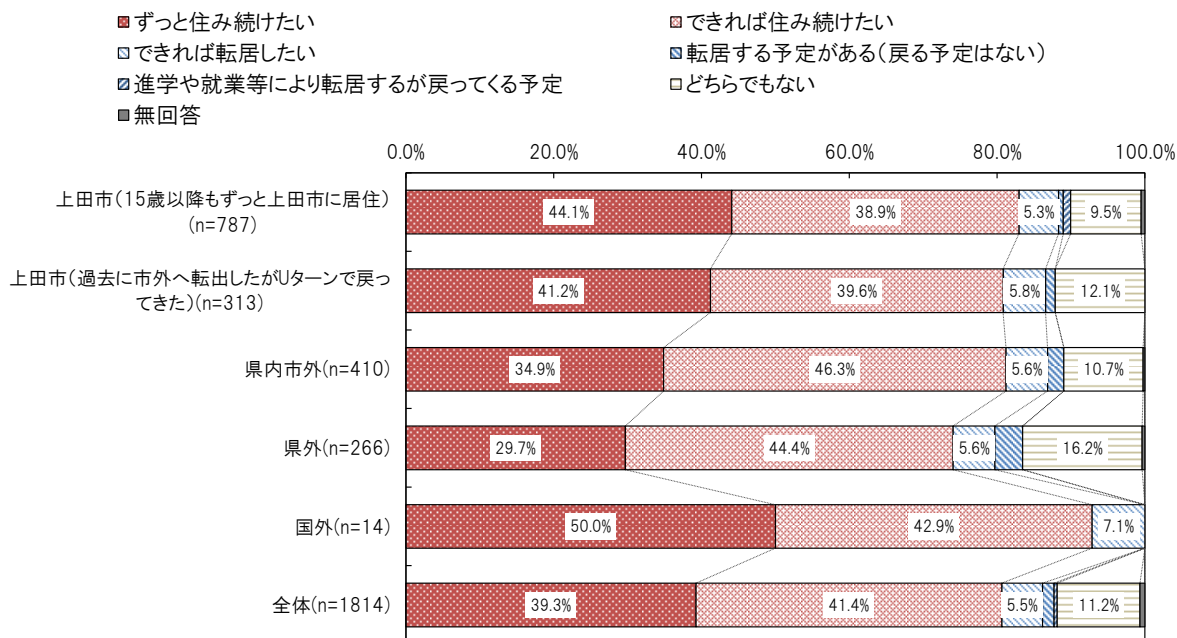
- 地域別に「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合算した回答割合をみると、いずれの地域も7割以上となっている。
- 中でも、「塩田地域」、「上田城南地域」はそれぞれ85.7%、82.2%と他地域に比べて高い。
- 一方で「川西地域」(75.3%)、「武石地域」(77.8%)は、他地域に比べると低い結果となった。

図表 40 【居住地域別】今後も上田市に住み続けたいと思うか



- 出身地別に、「ずっと住みたい」と「できれば住みたい」を合算した回答割合をみると、「県外出身者」(74.1%)を除き、8割以上が「住みたい」と回答している。

図表 41 【出身地別】今後も上田市に住みたいと思うか



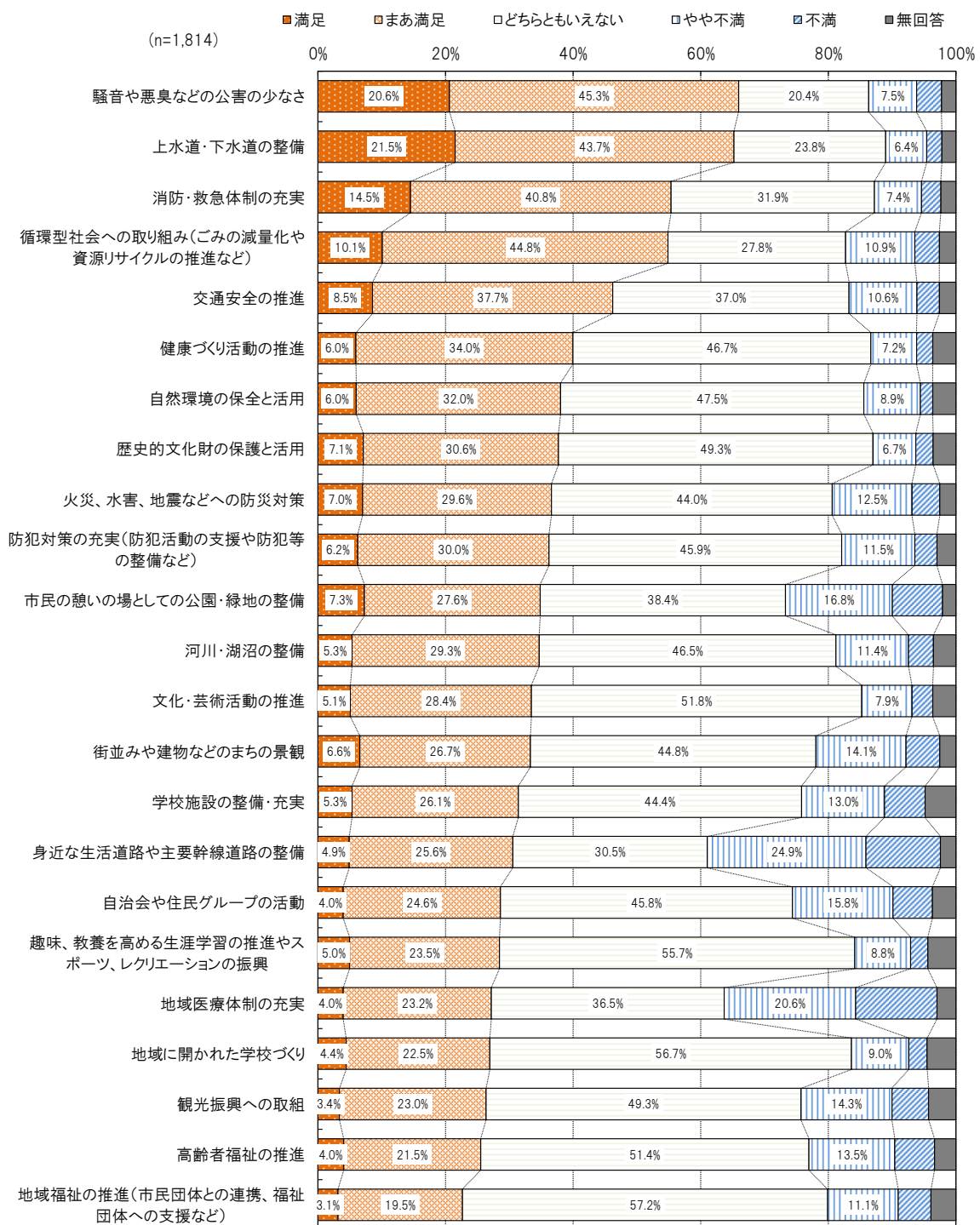
3 市の全般的な施策や事業等について

問5 分野ごとの施策等について、どのように感じますか。施策に対する現在の「満足度」と今後の「重要度」、また総合的な「幸福度」について、項目ごとにあてはまる番号を1つ選んでください。

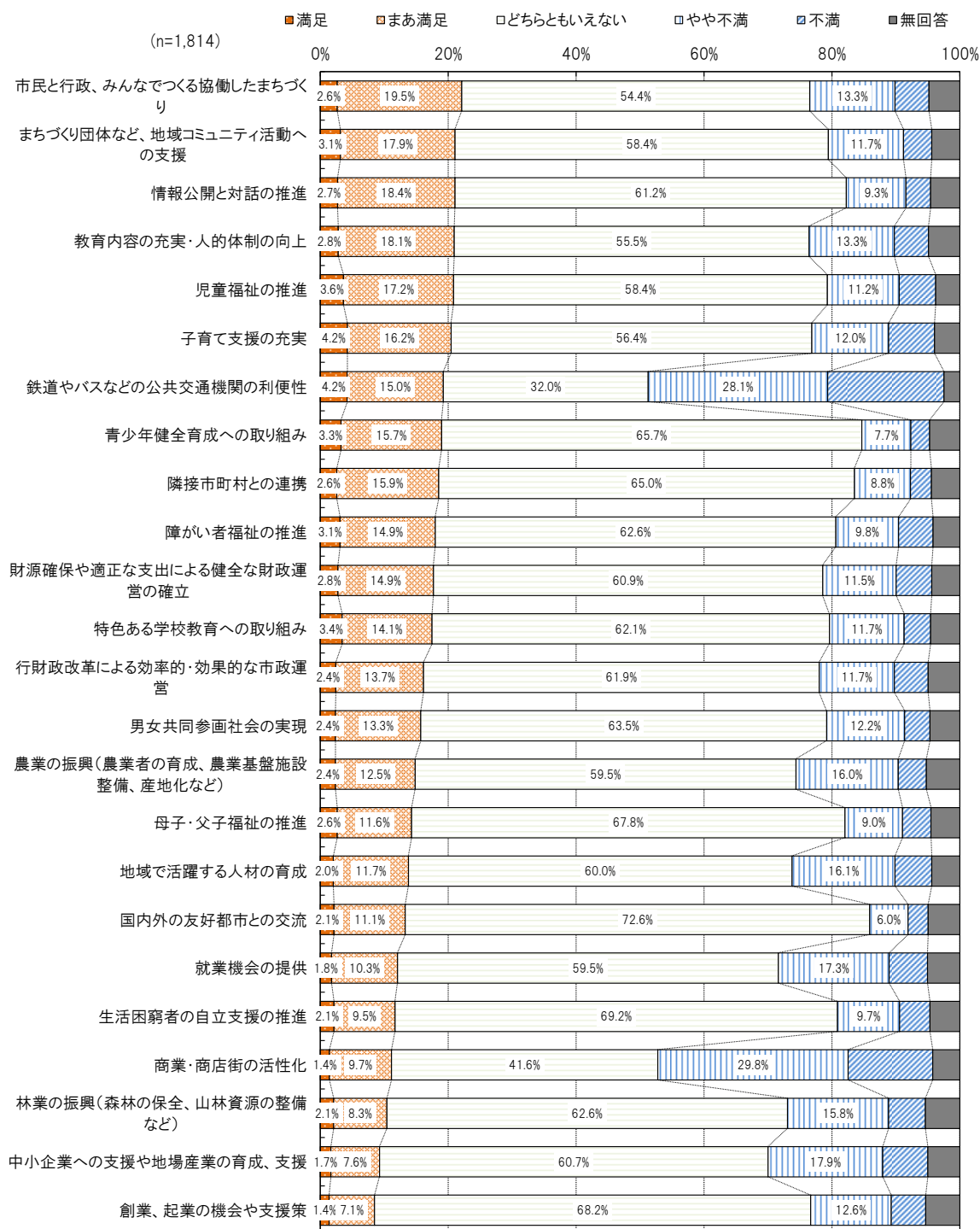
(1)市の施策や事業等に対する満足度

- 「満足」「まあ満足」を合算した回答割合をみると、「騒音や悪臭などの公害の少なさ」(65.9%)が最も高く、「上水道・下水道の整備」(65.2%)、「消防・救急体制の充実」(55.3%)、「循環型社会への取り組み」(54.9%)が続く結果となった。
- 一方、「創業、起業の機会や支援策」「中小企業への支援や地場産業の育成、支援」では1割程度にとどまった。

図表 42 市の施策や事業等に対する満足度



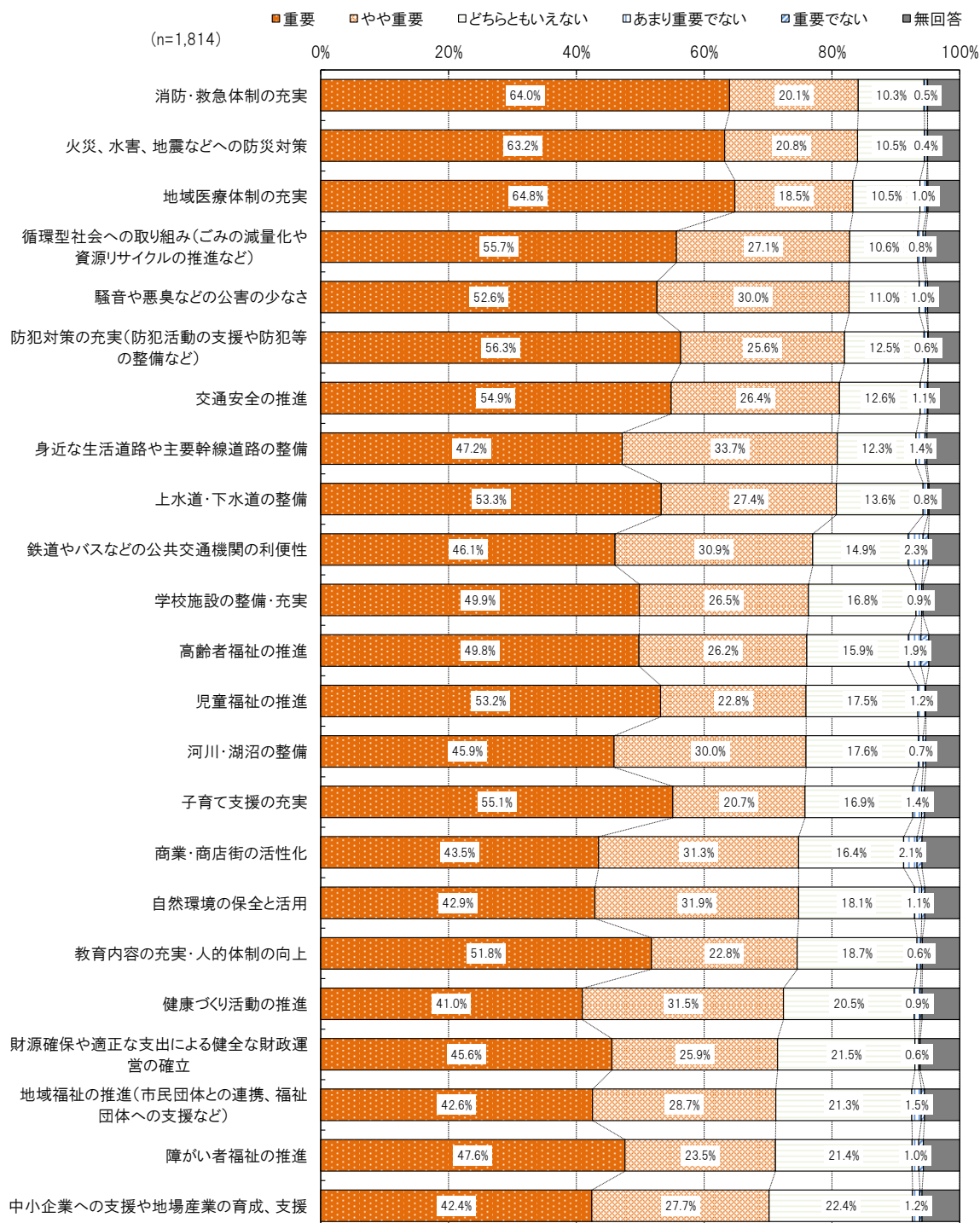
(※前ページからの続き)



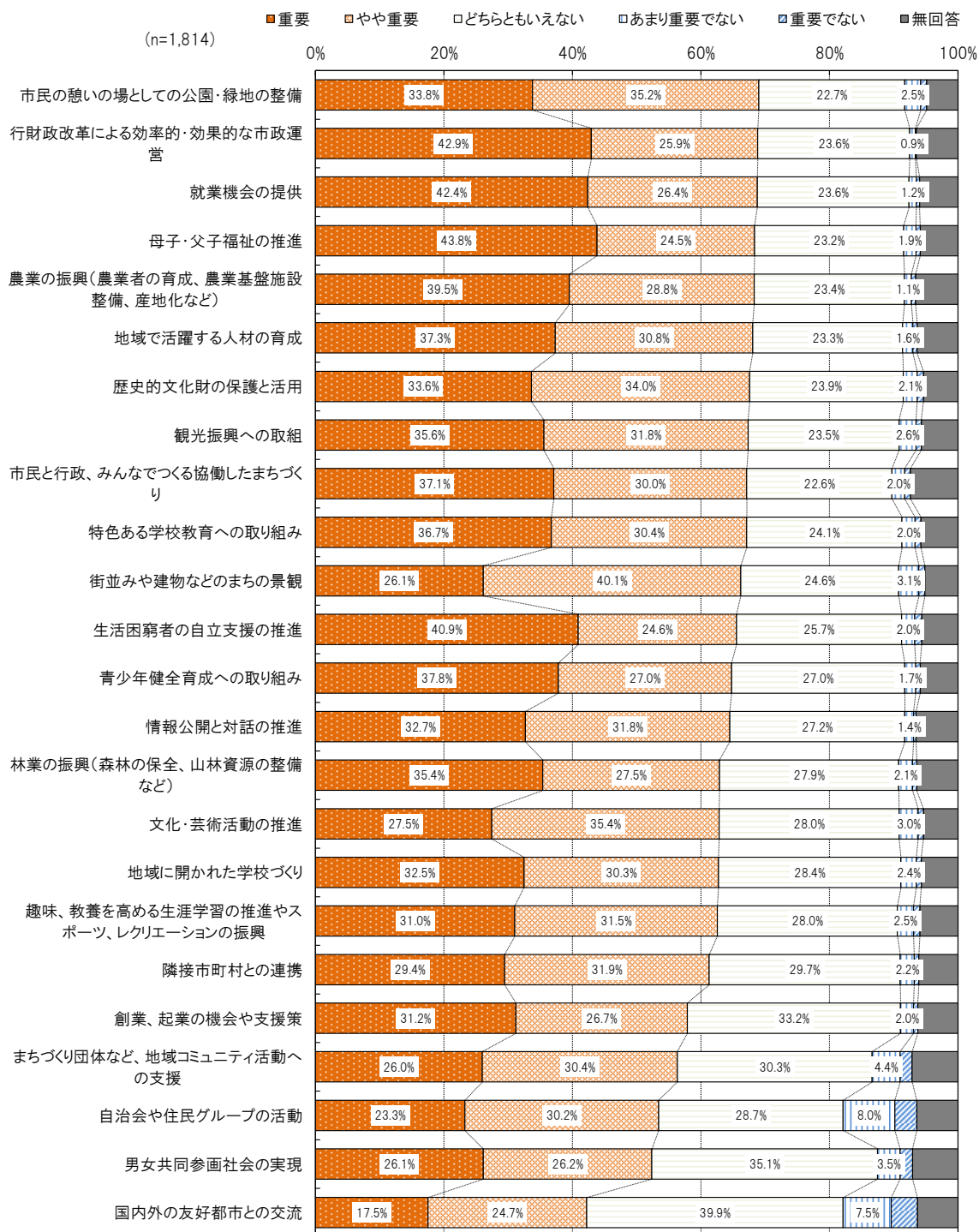
(2)市の施策や事業等に対する重要度

- 「重要」「やや重要」を合算した回答割合をみると、「消防・救急体制の充実」「火災、水害、地震などへの防災対策」「地域医療体制の充実」などで8割超が回答している。
- 一方で、「国内外の友好都市との交流」(42.2%)、「男女共同参画社会の実現」(52.3%)は、低い結果となった。

図表 43 市の施策や事業等に対する重要度



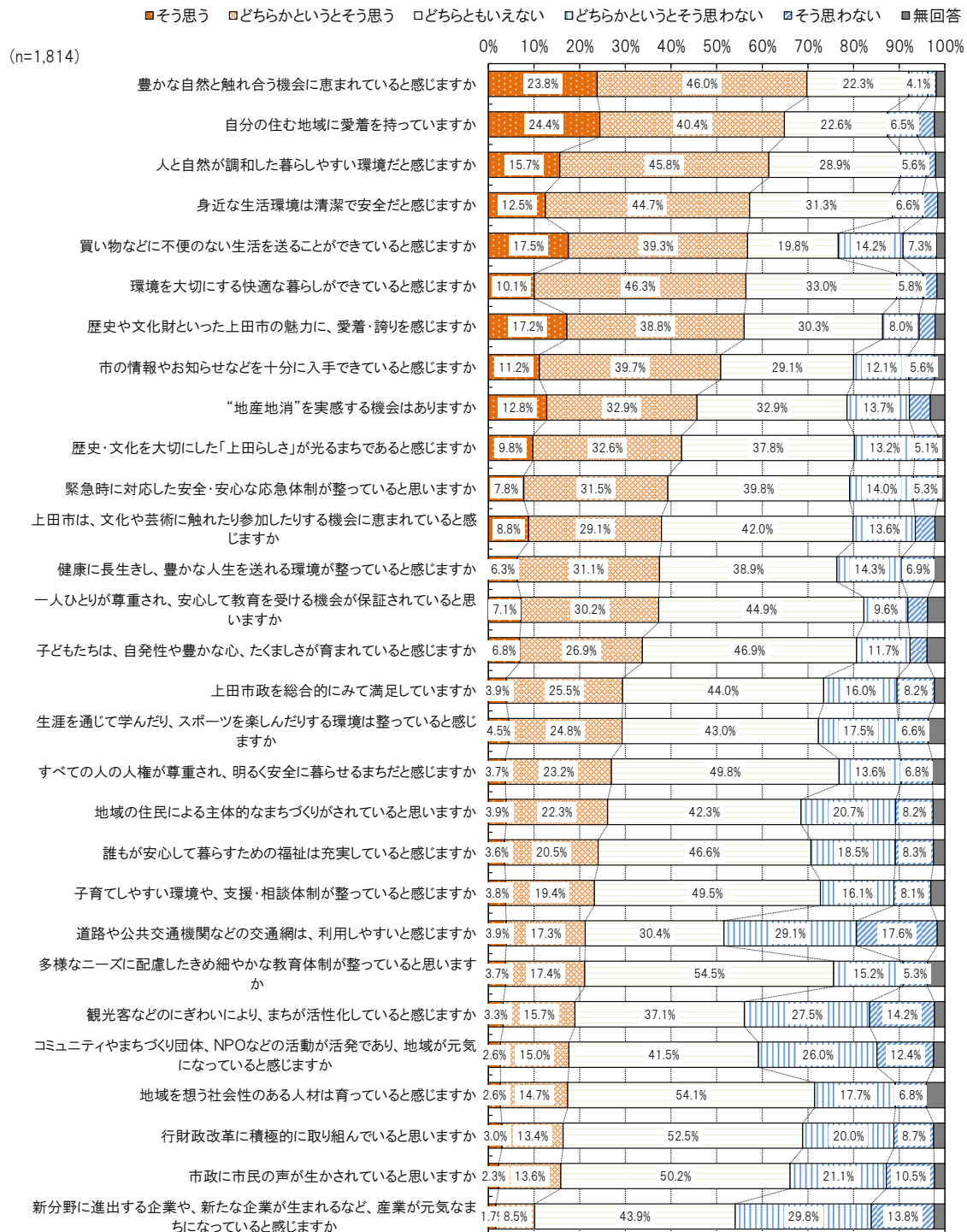
(※前ページからの続き)



(3)市の施策や事業等に対する総合的な評価(幸福度)

- 総合的な評価では、「豊かな自然と触れ合う機会」や「自分の住む地域への愛着」、「人と自然が調和した暮らしやすい環境」等で回答割合が高い結果となった。
- 一方で、「新分野に進出する企業や、新たな企業が生まれるなど、産業が元気なまち」や「市政に市民の声が生かされている」などに対する評価では低い結果となった。

図表 44 市の施策や事業等に対する総合的な評価(幸福度)



(4)重要度×満足度マトリクス分析

○ 市の施策に対する評価(満足度)と今後重点的に取り組むべき事項(重要度)の分析について

1. 重要度×満足度マトリクスの作成方法

- アンケートで尋ねた 47 施策について、回答結果に応じ以下のとおりポイントの重み付けを行い、満足度および重要度それぞれのポイントを算出。
- 満足度・重要度それぞれの平均値によって 4 象限に区分されるマトリクスに、47 施策をプロットして作成。

満足度	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
重要度	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
ポイント	2 ポイント	1 ポイント	0 ポイント	-1 ポイント	-2 ポイント

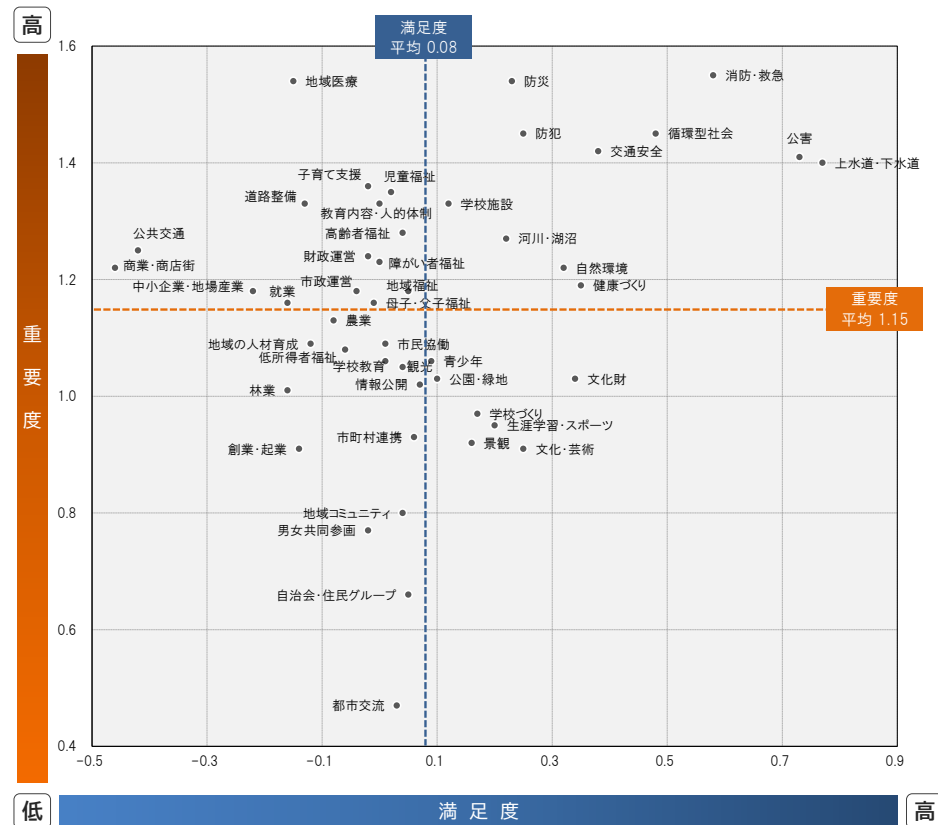
2. 重要度×満足度マトリクスの見方

- **満足度**: 市の施策や事業に対する現状での市民の評価。高いほど、市民からの評価が高いことを表す。
- **重要度**: 市民の考える、市の施策や事業の重要度。高いほど、今後重点的に取り組んでいく必要度が高いことを表す。



- 重要度×満足度マトリクス（図表 45）において、左上の象限（重要度は高いが、満足度は低い）に区分される施策は、図表 46 のとおり、重要度のポイントの高い順に「地域医療体制の充実」「子育て支援の充実」「児童福祉の推進」「身近な生活道路や主要幹線道路の整備」「教育内容の充実・人的体制の向上」など 15 施策であった。
- 医療・福祉の体制や生活交通の確保・充実など、安全・安心な生活を送るために必要な施策や、子育て支援や教育内容の充実など子どもを育てやすく質の高い教育を提供できる環境の整備、まちの魅力やにぎわいの創出などが、今後優先的に取り組むべき課題と考えられる。

図表 45 現状の評価(満足度)と今後重点的に取り組むべき事項(重要度)



図表 46 今後優先的に取り組むべき施策分野(左上の象限に区分された施策)

今後優先的に取り組むべき施策分野【重要度は高いが、満足度は低い】	重要度	満足度
地域医療体制の充実	1.54	-0.15
子育て支援の充実	1.36	-0.02
児童福祉の推進	1.35	0.02
身近な生活道路や主要幹線道路の整備	1.33	-0.13
教育内容の充実・人的体制の向上	1.33	0.00
高齢者福祉の推進	1.28	0.04
鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	1.25	-0.42
財源確保や適正な支出による健全な財政運営の確立	1.24	-0.02
障がい者福祉の推進	1.23	0.00
商業・商店街の活性化	1.22	-0.46
行財政改革による効率的・効果的な市政運営	1.18	-0.04
中小企業への支援や地場産業の育成、支援	1.18	-0.22
地域福祉の推進(市民団体との連携、福祉団体への支援など)	0.05	1.18
就業機会の提供	-0.16	1.16
母子・父子福祉の推進	-0.01	1.16

(5) 前回調査との満足度(住民による評価)の比較

- 「満足、まあ満足」に回答した割合を比較し、3%超増加を「改善」、3%超減少を「後退」、増減3%以内を「横ばい」として評価した結果は、以下のとおりとなった。

図表 47 「満足」「まあ満足」の回答割合の前回比較

＜市の施策に対する満足度＞…「満足」「まあ満足」の回答割合

分野	施策の内容	前回	→	今回	増減	評価
1 自治・協働	市民と行政、みんなでつくる協働したまちづくり	28.3%	→	22.1%	▲ 6.2%	後退
	自治会や住民グループの活動	38.6%	→	28.6%	▲ 10.0%	後退
	男女共同参画社会の実現	18.9%	→	15.7%	▲ 3.1%	後退
	まちづくり団体など、地域コミュニティ活動への支援	26.0%	→	21.1%	▲ 5.0%	後退
2 住環境・都市基盤	循環型社会への取り組み(ごみの減量化や資源リサイクルの推進など)	59.1%	→	54.9%	▲ 4.3%	後退
	騒音や悪臭などの公害の少なさ	70.3%	→	65.9%	▲ 4.3%	後退
	防犯対策の充実(防犯活動の支援や防犯等の整備など)	41.5%	→	36.2%	▲ 5.3%	後退
	交通安全の推進	45.7%	→	46.2%	0.5%	横ばい
	消防・救急体制の充実	58.4%	→	55.3%	▲ 3.1%	後退
	火災、水害、地震などへの防災対策	38.0%	→	36.6%	▲ 1.4%	横ばい
	街並みや建物などのまちの景観	39.3%	→	33.3%	▲ 6.0%	後退
	身近な生活道路や主要幹線道路の整備	37.7%	→	30.5%	▲ 7.1%	後退
	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	21.8%	→	19.2%	▲ 2.6%	横ばい
	上水道・下水道の整備	68.3%	→	65.2%	▲ 3.1%	後退
3 行財政運営	市民の憩いの場としての公園・緑地の整備	36.5%	→	34.8%	▲ 1.6%	横ばい
	情報公開と対話の推進	25.1%	→	21.1%	▲ 4.1%	後退
	財源確保や適正な支出による健全な財政運営の確立	21.8%	→	17.7%	▲ 4.1%	後退
	行財政改革による効率的・効果的な市政運営	20.0%	→	16.2%	▲ 3.8%	後退
	地域で活躍する人材の育成	16.2%	→	13.8%	▲ 2.4%	横ばい
	隣接市町村との連携	21.9%	→	18.5%	▲ 3.4%	後退
4 産業振興	国内外の友好都市との交流	16.7%	→	13.3%	▲ 3.4%	後退
	農業の振興(農業者の育成、農業基盤施設整備、産地化など)	17.4%	→	14.8%	▲ 2.6%	横ばい
	林業の振興(森林の保全、山林資源の整備など)	12.0%	→	10.4%	▲ 1.6%	横ばい
	商業・商店街の活性化	12.5%	→	11.1%	▲ 1.4%	横ばい
	中小企業への支援や地場産業の育成、支援	12.0%	→	9.3%	▲ 2.7%	横ばい
	観光振興への取組	35.7%	→	26.4%	▲ 9.4%	後退
	就業機会の提供	14.9%	→	12.1%	▲ 2.8%	横ばい
5 保健・医療・子育て・福祉	創業、起業の機会や支援策	11.7%	→	8.5%	▲ 3.2%	後退
	健康づくり活動の推進	44.5%	→	40.0%	▲ 4.5%	後退
	地域医療体制の充実	32.5%	→	27.2%	▲ 5.4%	後退
	地域福祉の推進(市民団体との連携、福祉団体への支援など)	26.9%	→	22.7%	▲ 4.2%	後退
	高齢者福祉の推進	29.8%	→	25.5%	▲ 4.3%	後退
	児童福祉の推進	26.0%	→	20.8%	▲ 5.1%	後退
	障がい者福祉の推進	21.8%	→	18.0%	▲ 3.8%	後退
	子育て支援の充実	26.5%	→	20.5%	▲ 6.1%	後退
	母子・父子福祉の推進	18.9%	→	14.3%	▲ 4.6%	後退
6 環境・文化	生活困窮者の自立支援の推進	14.6%	→	11.7%	▲ 2.9%	横ばい
	自然環境の保全と活用	41.0%	→	38.0%	▲ 3.0%	横ばい
	河川・湖沼の整備	36.2%	→	34.7%	▲ 1.5%	横ばい
	文化・芸術活動の推進	39.2%	→	33.5%	▲ 5.7%	後退
7 教育	歴史的文化財の保護と活用	42.8%	→	37.7%	▲ 5.1%	後退
	学校施設の整備・充実	40.4%	→	31.4%	▲ 9.0%	後退
	教育内容の充実・人的体制の向上	28.6%	→	20.9%	▲ 7.6%	後退
	特色ある学校教育への取り組み	23.1%	→	17.5%	▲ 5.7%	後退
	地域に開かれた学校づくり	34.8%	→	27.0%	▲ 7.9%	後退
	青少年健全育成への取り組み	25.4%	→	19.0%	▲ 6.5%	後退
	趣味、教養を高める生涯学習の推進やスポーツ、レクリエーションの振興	34.9%	→	28.4%	▲ 6.5%	後退

- 「不満、やや不満」に回答した割合を比較し、3%超減少を「改善」、3%超増加を「後退」、増減3%以内を「横ばい」として評価した結果は、以下のとおりとなった。

図表 48 「不満」「やや不満」の回答割合の前回比較

＜市の施策に対する不満度＞…「不満」「やや不満」の回答割合

分野	施策の内容	前回	→	今回	増減	評価
1 自治・協働	市民と行政、みんなでつくる協働したまちづくり	12.9%	→	18.6%	5.7%	後退
	自治会や住民グループの活動	15.0%	→	21.9%	6.9%	後退
	男女共同参画社会の実現	12.4%	→	16.2%	3.8%	後退
	まちづくり団体など、地域コミュニティ活動への支援	12.2%	→	16.2%	3.9%	後退
2 住環境・都市基盤	循環型社会への取り組み(ごみの減量化や資源リサイクルの推進など)	12.9%	→	14.7%	1.8%	横ばい
	騒音や悪臭などの公害の少なさ	9.9%	→	11.4%	1.5%	横ばい
	防犯対策の充実(防犯活動の支援や防犯等の整備など)	11.2%	→	14.9%	3.7%	後退
	交通安全の推進	13.4%	→	14.2%	0.8%	横ばい
	消防・救急体制の充実	8.6%	→	10.4%	1.9%	横ばい
	火災、水害、地震などへの防災対策	10.7%	→	16.9%	6.2%	後退
	街並みや建物などのまちの景観	16.2%	→	19.4%	3.2%	後退
	身近な生活道路や主要幹線道路の整備	30.1%	→	36.5%	6.5%	後退
	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	43.3%	→	46.3%	3.0%	横ばい
	上水道・下水道の整備	5.6%	→	8.8%	3.2%	後退
3 行財政運営	市民の憩いの場としての公園・緑地の整備	22.5%	→	24.6%	2.1%	横ばい
	情報公開と対話の推進	10.1%	→	13.2%	3.0%	後退
	財源確保や適正な支出による健全な財政運営の確立	13.2%	→	17.0%	3.8%	後退
	行財政改革による効率的・効果的な市政運営	14.9%	→	17.0%	2.1%	横ばい
	地域で活躍する人材の育成	18.5%	→	21.8%	3.3%	後退
	隣接市町村との連携	9.7%	→	12.0%	2.3%	横ばい
4 産業振興	国内外の友好都市との交流	8.3%	→	9.2%	0.9%	横ばい
	農業の振興(農業者の育成、農業基盤施設整備、産地化など)	13.5%	→	20.4%	6.9%	後退
	林業の振興(森林の保全、山林資源の整備など)	18.3%	→	21.6%	3.3%	後退
	商業・商店街の活性化	40.4%	→	43.0%	2.6%	横ばい
	中小企業への支援や地場産業の育成、支援	20.2%	→	25.0%	4.8%	後退
	観光振興への取組	14.1%	→	20.0%	6.0%	後退
	就業機会の提供	19.2%	→	23.3%	4.1%	後退
5 保健・医療・子育て・福祉	創業、起業の機会や支援策	13.1%	→	18.0%	4.9%	後退
	健康づくり活動の推進	6.8%	→	9.7%	2.9%	横ばい
	地域医療体制の充実	29.5%	→	33.4%	3.8%	後退
	地域福祉の推進(市民団体との連携、福祉団体への支援など)	12.7%	→	16.2%	3.5%	後退
	高齢者福祉の推進	16.7%	→	19.7%	3.0%	後退
	児童福祉の推進	13.6%	→	16.9%	3.3%	後退
	障がい者福祉の推進	12.9%	→	15.2%	2.3%	横ばい
	子育て支援の充実	15.2%	→	19.2%	4.0%	後退
6 環境・文化	母子・父子福祉の推進	9.4%	→	13.5%	4.0%	後退
	生活困窮者の自立支援の推進	11.3%	→	14.4%	3.2%	後退
	自然環境の保全と活用	8.4%	→	10.8%	2.4%	横ばい
	河川・湖沼の整備	12.0%	→	15.3%	3.3%	後退
7 教育	文化・芸術活動の推進	9.5%	→	11.1%	1.7%	横ばい
	歴史的文化財の保護と活用	7.4%	→	9.4%	2.0%	横ばい
	学校施設の整備・充実	13.9%	→	19.3%	5.5%	後退
	教育内容の充実・人的体制の向上	13.0%	→	18.7%	5.7%	後退
	特色ある学校教育への取り組み	11.7%	→	15.8%	4.2%	後退
	地域に開かれた学校づくり	6.7%	→	11.9%	5.2%	後退
	青少年健全育成への取り組み	7.4%	→	10.6%	3.2%	後退
	趣味、教養を高める生涯学習の推進やスポーツ、レクリエーションの振興	9.5%	→	11.5%	2.0%	横ばい

図表 49 市の施策に対する満足度と不満度の差

- 市の施策に対する満足度と不満度の差を、5 %超増加を「改善」、5 %超減少を「後退」、増減5 %以内を「横ばい」として評価した結果は、以下のとおりとなった。

＜市の施策に対する満足度と不満度の差＞ ※「満足」「まあ満足」の回答割合-「不満」「やや不満」の回答割合

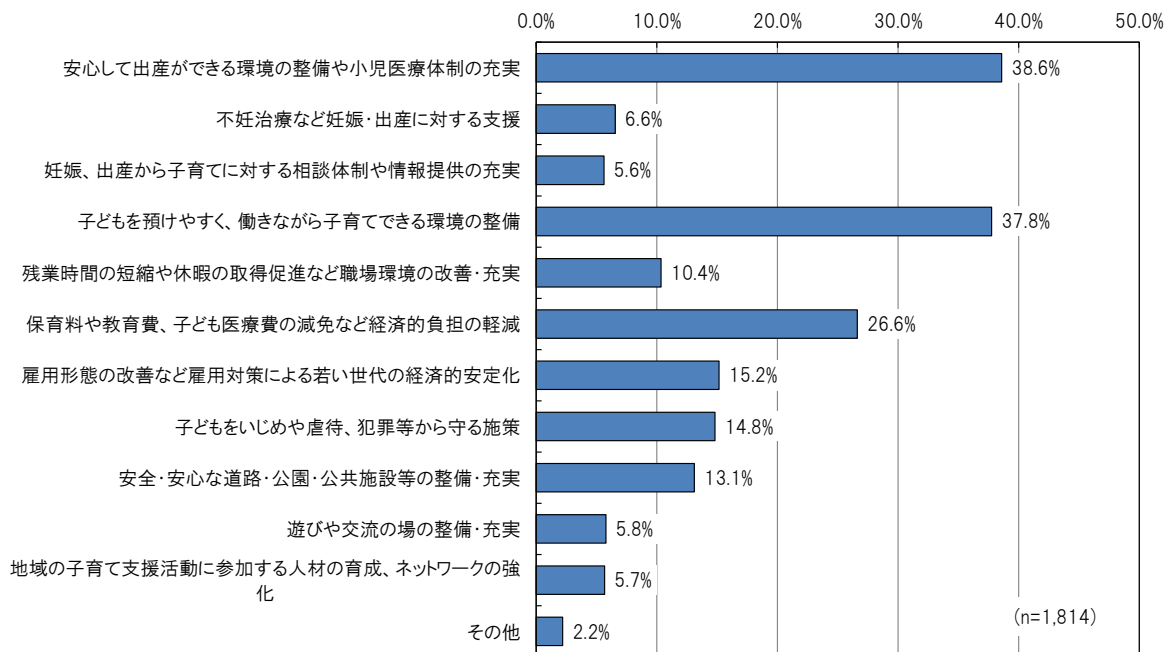
分野	施策の内容	前回	→	今回	増減	評価
1 自治・協働	市民と行政、みんなでつくる協働したまちづくり	15.4%	→	3.5%	▲ 11.9%	後退
	自治会や住民グループの活動	23.6%	→	6.7%	▲ 16.9%	後退
	男女共同参画社会の実現	6.5%	→	-0.4%	▲ 6.9%	後退
	まちづくり団体など、地域コミュニティ活動への支援	13.8%	→	4.9%	▲ 8.9%	後退
2 住環境・都市基盤	循環型社会への取り組み(ごみの減量化や資源リサイクルの推進など)	46.2%	→	40.1%	▲ 6.1%	後退
	騒音や悪臭などの公害の少なさ	60.4%	→	54.5%	▲ 5.9%	後退
	防犯対策の充実(防犯活動の支援や防犯等の整備など)	30.3%	→	21.3%	▲ 9.0%	後退
	交通安全の推進	32.3%	→	32.0%	▲ 0.3%	横ばい
	消防・救急体制の充実	49.8%	→	44.9%	▲ 4.9%	横ばい
	火災、水害、地震などへの防災対策	27.3%	→	19.7%	▲ 7.6%	後退
	街並みや建物などのまちの景観	23.1%	→	13.9%	▲ 9.2%	後退
	身近な生活道路や主要幹線道路の整備	7.6%	→	-6.0%	▲ 13.6%	後退
	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性	-21.4%	→	-27.0%	▲ 5.6%	後退
	上水道・下水道の整備	62.7%	→	56.4%	▲ 6.3%	後退
3 行財政運営	市民の憩いの場としての公園・緑地の整備	13.9%	→	10.2%	▲ 3.8%	横ばい
	情報公開と対話の推進	15.0%	→	7.9%	▲ 7.1%	後退
	財源確保や適正な支出による健全な財政運営の確立	8.6%	→	0.7%	▲ 8.0%	後退
	行財政改革による効率的・効果的な市政運営	5.0%	→	-0.9%	▲ 5.9%	後退
	地域で活躍する人材の育成	-2.4%	→	-8.0%	▲ 5.7%	後退
	隣接市町村との連携	12.2%	→	6.5%	▲ 5.7%	後退
4 産業振興	国内外の友好都市との交流	8.5%	→	4.1%	▲ 4.3%	横ばい
	農業の振興(農業者の育成、農業基盤施設整備、産地化など)	3.9%	→	-5.6%	▲ 9.4%	後退
	林業の振興(森林の保全、山林資源の整備など)	-6.3%	→	-11.1%	▲ 4.9%	横ばい
	商業・商店街の活性化	-27.9%	→	-31.9%	▲ 4.0%	横ばい
	中小企業への支援や地場産業の育成、支援	-8.3%	→	-15.7%	▲ 7.5%	後退
	観光振興への取組	21.7%	→	6.3%	▲ 15.3%	後退
	就業機会の提供	-4.3%	→	-11.2%	▲ 7.0%	後退
	創業、起業の機会や支援策	-1.4%	→	-9.5%	▲ 8.1%	後退
5 保健・医療・子育て・福祉	健康づくり活動の推進	37.7%	→	30.3%	▲ 7.4%	後退
	地域医療体制の充実	3.0%	→	-6.2%	▲ 9.2%	後退
	地域福祉の推進(市民団体との連携、福祉団体への支援など)	14.2%	→	6.4%	▲ 7.7%	後退
	高齢者福祉の推進	13.2%	→	5.8%	▲ 7.3%	後退
	児童福祉の推進	12.4%	→	3.9%	▲ 8.5%	後退
	障がい者福祉の推進	8.9%	→	2.8%	▲ 6.1%	後退
	子育て支援の充実	11.4%	→	1.3%	▲ 10.1%	後退
	母子・父子福祉の推進	9.5%	→	0.8%	▲ 8.7%	後退
	生活困窮者の自立支援の推進	3.3%	→	-2.8%	▲ 6.0%	後退
6 環境・文化	自然環境の保全と活用	32.6%	→	27.2%	▲ 5.4%	後退
	河川・湖沼の整備	24.1%	→	19.4%	▲ 4.7%	横ばい
	文化・芸術活動の推進	29.7%	→	22.3%	▲ 7.4%	後退
	歴史的文化財の保護と活用	35.4%	→	28.3%	▲ 7.1%	後退
7 教育	学校施設の整備・充実	26.5%	→	12.1%	▲ 14.4%	後退
	教育内容の充実・人的体制の向上	15.6%	→	2.3%	▲ 13.3%	後退
	特色ある学校教育への取り組み	11.5%	→	1.7%	▲ 9.8%	後退
	地域に開かれた学校づくり	28.2%	→	15.1%	▲ 13.1%	後退
	青少年健全育成への取り組み	18.0%	→	8.4%	▲ 9.6%	後退
	趣味、教養を高める生涯学習の推進やスポーツ、レクリエーションの振興	25.4%	→	17.0%	▲ 8.4%	後退

4 子育て支援について

問6 安心して子育てができるまちづくりを推進するために、今後どのような施策に力を入れて取り組む必要があると思いますか(2つまで選択)。

- 力を入れて取り組む必要がある子育て支援策については、「安心して出産ができる環境の整備や小児医療体制の充実」(38.6%)、「子どもを預けやすく、働きながら子育てできる環境の整備」(37.8%)が高く、次いで「保育料や教育費、子ども医療費の減免など経済的負担の軽減」(26.6%)が続く結果となった。

図表 50 今後力を入れて取り組むべき子育て支援策



- 年代別では、20歳代以下、30歳代は「保育料や教育費、子ども医療費の減免など経済的負担の軽減」の回答割合が他の年代に比べ高く4割を超えており、市全体と比較するとそれぞれ13.4ポイント、16.8ポイント高い。

図表 51 【性別】今後力を入れて取り組むべき子育て支援策

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
安心して出産ができる環境の整備や 小児医療体制の充実	35.9%	40.8%	50.0%	33.3%	28.6%	38.6%
不妊治療など妊娠・出産に対する支 援	6.2%	6.8%	0.0%	16.7%	0.0%	6.6%
妊娠、出産から子育てに対する相談 体制や情報提供の充実	5.3%	5.8%	0.0%	16.7%	0.0%	5.6%
子どもを預けやすく、働きながら子育て できる環境の整備	37.3%	38.0%	50.0%	50.0%	28.6%	37.8%
残業時間の短縮や休暇の取得促進 など職場環境の改善・充実	8.6%	11.7%	75.0%	0.0%	0.0%	10.4%
保育料や教育費、子ども医療費の減 免など経済的負担の軽減	28.6%	25.1%	25.0%	25.0%	28.6%	26.6%
雇用形態の改善など雇用対策による 若い世代の経済的安定化	15.6%	14.8%	0.0%	8.3%	28.6%	15.2%
子どもをいじめや虐待、犯罪等から守 る施策	14.8%	14.9%	0.0%	25.0%	0.0%	14.8%
安全・安心な道路・公園・公共施設等 の整備・充実	14.5%	12.2%	0.0%	0.0%	14.3%	13.1%
遊びや交流の場の整備・充実	6.9%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%
地域の子育て支援活動に参加する人 材の育成、ネットワークの強化	5.3%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%
その他	2.9%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%

図表 52 【年代別】今後力を入れて取り組むべき子育て支援策

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
安心して出産ができる環境の整備や 小児医療体制の充実	23.2%	34.2%	34.3%	38.9%	46.2%	39.6%	50.0%	38.6%
不妊治療など妊娠・出産に対する支 援	14.4%	9.2%	11.1%	7.6%	3.8%	4.0%	10.0%	6.6%
妊娠、出産から子育てに対する相談 体制や情報提供の充実	8.0%	5.9%	6.9%	5.5%	4.1%	5.6%	0.0%	5.6%
子どもを預けやすく、働きながら子育て できる環境の整備	39.2%	32.2%	31.9%	34.5%	43.9%	38.6%	50.0%	37.8%
残業時間の短縮や休暇の取得促進 など職場環境の改善・充実	16.0%	15.8%	13.4%	12.0%	7.9%	7.9%	0.0%	10.4%
保育料や教育費、子ども医療費の減 免など経済的負担の軽減	40.0%	43.4%	31.9%	24.0%	24.9%	20.9%	20.0%	26.6%
雇用形態の改善など雇用対策による 若い世代の経済的安定化	22.4%	13.8%	14.4%	13.5%	16.4%	14.4%	20.0%	15.2%
子どもをいじめや虐待、犯罪等から守 る施策	8.8%	11.8%	10.2%	18.9%	16.4%	15.7%	10.0%	14.8%
安全・安心な道路・公園・公共施設等 の整備・充実	8.8%	11.8%	17.1%	14.5%	14.0%	12.0%	10.0%	13.1%
遊びや交流の場の整備・充実	7.2%	3.9%	9.7%	8.0%	2.6%	5.5%	0.0%	5.8%
地域の子育て支援活動に参加する人 材の育成、ネットワークの強化	2.4%	4.6%	3.7%	4.4%	6.7%	7.2%	0.0%	5.7%
その他	0.8%	3.9%	4.6%	2.5%	0.6%	2.0%	0.0%	2.2%

- 地区別にみると、上田城南地域、川西地域では、「安心して出産できる環境の整備や小児医療体制の充実」の回答割合が他地域に比べ高く、市全体（38.6%）に対し、それぞれ 44.0%（5.4 ポイント差）、55.3%（16.7 ポイント差）となっている。

図表 53 【居住地域別】今後力を入れて取り組むべき子育て支援策

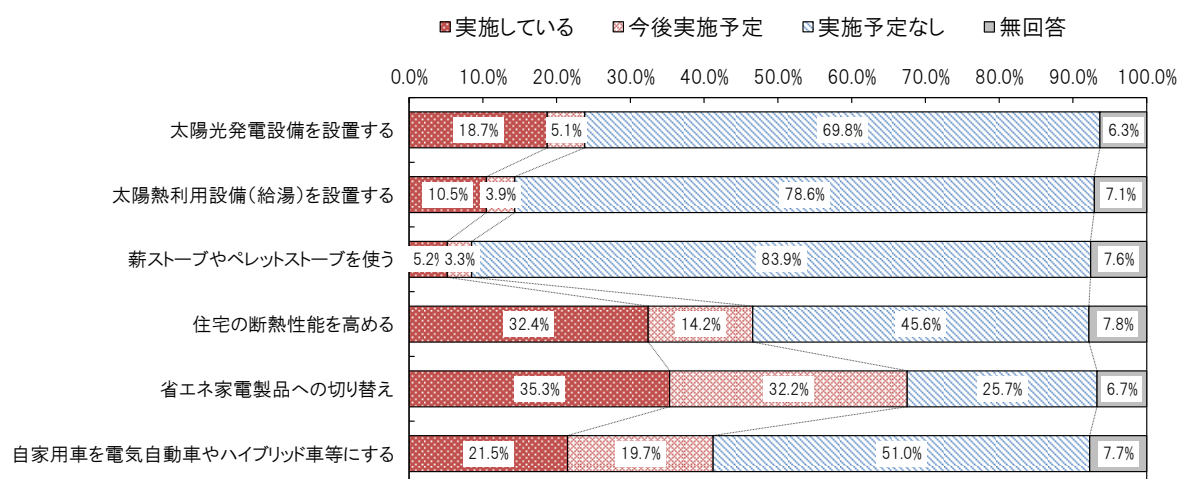
	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
安心して出産ができる環境の整備や 小児医療体制の充実	39.0%	37.2%	44.0%	35.9%	35.1%	55.3%	35.4%	33.8%	33.3%	44.4%	38.6%
不妊治療など妊娠・出産に対する支 援	8.3%	5.3%	5.8%	8.5%	6.0%	2.4%	5.5%	7.5%	0.0%	11.1%	6.6%
妊娠、出産から子育てに対する相談 体制や情報提供の充実	6.7%	5.3%	6.2%	4.9%	5.6%	4.7%	5.5%	4.5%	2.8%	0.0%	5.6%
子どもを預けやすく、働きながら子育て できる環境の整備	39.7%	41.6%	32.0%	38.6%	38.6%	34.1%	36.3%	39.8%	44.4%	55.6%	37.8%
残業時間の短縮や休暇の取得促進 など職場環境の改善・充実	10.8%	8.0%	10.3%	11.7%	10.4%	10.6%	9.3%	10.5%	13.9%	0.0%	10.4%
保育料や教育費、子ども医療費の減 免など経済的負担の軽減	28.4%	28.3%	24.4%	26.5%	22.3%	23.5%	30.0%	30.1%	22.2%	22.2%	26.6%
雇用形態の改善など雇用対策による 若い世代の経済的安定化	13.8%	8.8%	15.5%	12.6%	19.1%	12.9%	16.5%	18.8%	19.4%	22.2%	15.2%
子どもをいじめや虐待、犯罪等から守 る施策	14.2%	11.5%	16.8%	15.7%	15.1%	18.8%	14.3%	12.0%	16.7%	0.0%	14.8%
安全・安心な道路・公園・公共施設等 の整備・充実	11.7%	14.2%	14.4%	13.9%	13.1%	10.6%	14.3%	13.5%	8.3%	11.1%	13.1%
遊びや交流の場の整備・充実	6.2%	4.4%	3.4%	7.6%	7.2%	4.7%	5.5%	7.5%	2.8%	0.0%	5.8%
地域の子育て支援活動に参加する人 材の育成、ネットワークの強化	5.3%	4.4%	6.5%	5.8%	4.4%	5.9%	5.9%	7.5%	8.3%	0.0%	5.7%
その他	1.6%	1.8%	2.1%	1.8%	3.2%	1.2%	4.2%	1.5%	0.0%	0.0%	2.2%

5 環境(脱炭素・ゼロカーボン)の取組について

問7 地球温暖化防止(温室効果ガス削減)のために家庭で取り組んでいることはありますか。(取組項目ごと、該当する取組状況を選択)

- 「実施している」、「今後実施予定」の合算をみると、「省エネ家電製品への切り替え」が67.5%と最も高い。
- 次いで、「住宅の断熱性能を高める」(46.6%)、「自家用車を電気自動車やハイブリッド車等にする」(41.2%)が続く。

図表 54 地球温暖化防止(温室効果ガス削減)のために家庭で取り組んでいること

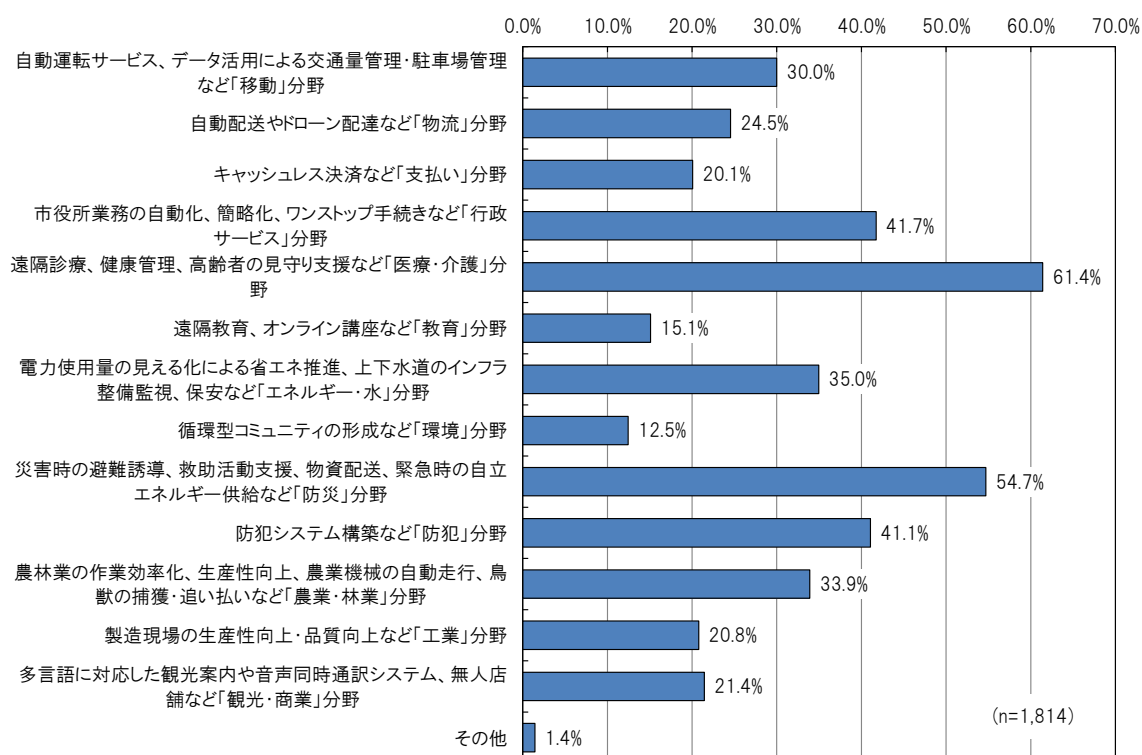


6 先進技術等の活用について

問8 今後どの分野に先進技術等を活用すれば、住民サービスの向上や産業振興につながるといいますか(5つまで選択)。

- 今後どの分野に先進技術等を活用すれば住民サービスの向上や産業振興につながると思うかについては、「遠隔診療、健康管理、高齢者の見守りなど『医療・介護』分野」が61.4%と最も高く、次いで「災害時の避難誘導、救助活動支援、物資配送、緊急時の自立エネルギー供給など『防災』分野」が54.7%と高い。

図表 55 先進技術を活用することで、住民サービスの向上や産業振興につながると考えられる分野



- 年代別にみると、「遠隔診療、健康管理、高齢者の見守りなど『医療・介護』分野」は、上の年代で回答割合が高い傾向にあります。
- 「市役所業務の自動化、簡略化、ワンストップ手続きなど『行政サービス』分野」は、30代は52.0%と約半数が回答しましたが、70歳代以上では36.0%でした。
- また、20歳代以下では、他の年代に比べ「キャッシュレス決済など『支払い』分野」の回答割合が高く、34.4%（市全体と比べ14.3ポイント差）が回答しました。

図表 56 【年代別】先進技術を活用することで、住民サービスの向上や産業振興につながると考えられる分野

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
自動運転サービス、データ活用による交通量管理・駐車場管理など「移動」分野	36.0%	36.2%	37.5%	30.5%	32.2%	24.2%	10.0%	30.0%
自動配送やドローン配達など「物流」分野	32.0%	33.6%	31.5%	27.3%	24.9%	17.9%	20.0%	24.5%
キャッシュレス決済など「支払い」分野	34.4%	24.3%	29.2%	20.4%	19.9%	13.7%	20.0%	20.1%
市役所業務の自動化、簡略化、ワンストップ手続きなど「行政サービス」分野	39.2%	52.0%	44.9%	44.7%	45.6%	36.0%	30.0%	41.7%
遠隔診療、健康管理、高齢者の見守り支援など「医療・介護」分野	48.0%	47.4%	59.3%	58.9%	69.3%	64.6%	70.0%	61.4%
遠隔教育、オンライン講座など「教育」分野	24.8%	25.7%	26.4%	14.9%	12.9%	8.6%	20.0%	15.1%
電力使用量の見える化による省エネ推進、上下水道のインフラ整備監視、保安など「エネルギー・水」分野	28.0%	24.3%	23.1%	35.3%	40.6%	39.5%	20.0%	35.0%
循環型コミュニティの形成など「環境」分野	8.0%	11.2%	10.2%	14.2%	13.7%	12.8%	20.0%	12.5%
災害時の避難誘導、救助活動支援、物資配送、緊急時の自立エネルギー供給など「防災」分野	36.8%	52.0%	46.3%	55.3%	59.6%	58.2%	70.0%	54.7%
防犯システム構築など「防犯」分野	26.4%	40.1%	29.6%	44.0%	44.4%	44.7%	40.0%	41.1%
農林業の作業効率化、生産性向上、農業機械の自動走行、鳥獣の捕獲・追い払いなど「農業・林業」分野	28.0%	23.7%	28.7%	33.1%	38.9%	36.7%	30.0%	33.9%
製造現場の生産性向上・品質向上など「工業」分野	20.8%	31.6%	25.9%	17.8%	22.2%	17.4%	10.0%	20.8%
多言語に対応した観光案内や音声同時通訳システム、無人店舗など「観光・商業」分野	27.2%	30.9%	25.5%	22.9%	19.3%	17.7%	10.0%	21.4%
その他	1.6%	3.3%	0.9%	1.8%	0.6%	1.4%	0.0%	1.4%

- 地域別に見ると、武石地域、真田地域では「農林業の作業効率化、生産性向上、農業機械の自動走行、鳥獣の捕獲・追い払いなど『農業・林業』分野」の回答割合が高く、それぞれ 47.2%（市全体と比べ 13.3 ポイント差）、それぞれ 45.9%（市全体と比べ 12.0 ポイント差）が回答している。
- 川西地域では、市全体と比べて「自動配送やドローン配達など『物流』分野」および「遠隔教育、オンライン講座など『教育』分野」の回答割合が高く、それぞれ 34.1%（市全体と比べ 9.6 ポイント差）、22.4%（7.3 ポイント差）が回答している。

図表 57 【居住地域別】先進技術を活用することで、住民サービスの向上や産業振興につながると考えられる分野

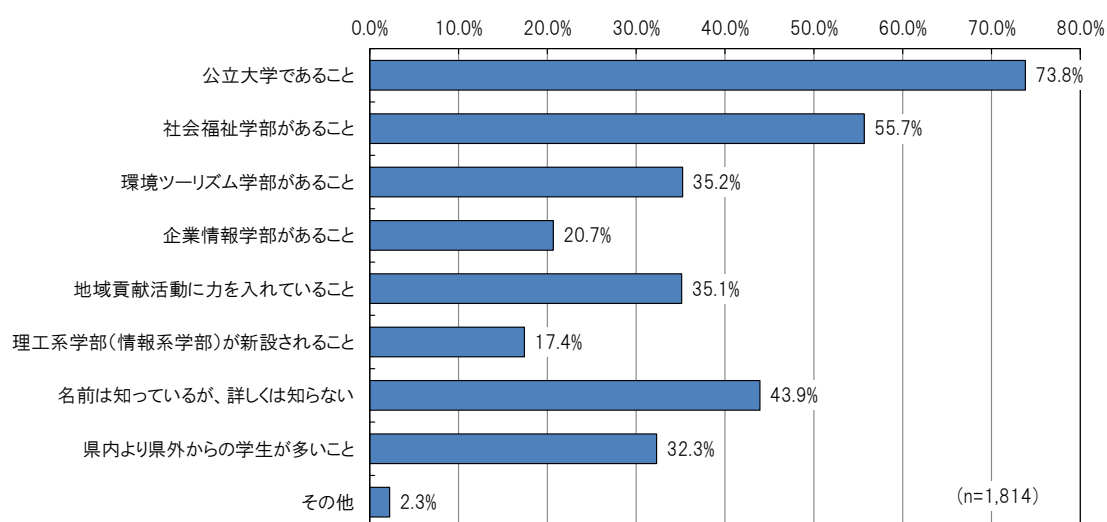
	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
自動運転サービス、データ活用 による交通量管理・駐車場管 理など「移動」分野	31.2%	28.3%	31.6%	34.5%	24.3%	36.5%	29.5%	27.1%	25.0%	0.0%	30.0%
自動配送やドローン配達など 「物流」分野	26.1%	24.8%	20.6%	22.4%	20.3%	34.1%	27.8%	25.6%	33.3%	11.1%	24.5%
キャッシュレス決済など「支 払い」分野	23.9%	21.2%	18.2%	21.1%	18.7%	17.6%	17.7%	19.5%	13.9%	11.1%	20.1%
市役所業務の自動化、簡略 化、ワンストップ手続きなど「行 政サービス」分野	48.4%	38.1%	42.3%	46.2%	38.6%	38.8%	36.7%	32.3%	38.9%	33.3%	41.7%
遠隔診療、健康管理、高齢者 の見守り支援など「医療・介護」 分野	60.1%	58.4%	57.4%	64.1%	60.6%	64.7%	66.2%	62.4%	66.7%	55.6%	61.4%
遠隔教育、オンライン講座など 「教育」分野	17.9%	8.8%	16.2%	15.2%	12.7%	22.4%	14.8%	11.3%	5.6%	22.2%	15.1%
電力使用量の見える化による 省エネ推進、上下水道のインフ ラ整備監視、保安など「エネル ギー・水」分野	32.3%	35.4%	36.4%	27.4%	40.2%	25.9%	36.7%	44.4%	41.7%	22.2%	35.0%
循環型コミュニティの形成など 「環境」分野	10.8%	15.9%	9.6%	16.6%	11.6%	3.5%	15.2%	15.0%	16.7%	22.2%	12.5%
災害時の避難誘導、救助活動 支援、物資配送、緊急時の自 立エネルギー供給など「防災」 分野	53.7%	47.8%	58.8%	54.7%	53.4%	56.5%	57.0%	54.1%	47.2%	55.6%	54.7%
防犯システム構築など「防犯」 分野	41.7%	45.1%	39.2%	45.3%	41.4%	35.3%	39.7%	39.1%	36.1%	44.4%	41.1%
農林業の作業効率化、生産性 向上、農業機械の自動走行、 鳥獣の捕獲・追い払いなど「農 業・林業」分野	26.8%	34.5%	33.7%	30.9%	36.3%	41.2%	35.9%	45.9%	47.2%	33.3%	33.9%
製造現場の生産性向上・品質 向上など「工業」分野	23.4%	20.4%	17.9%	21.5%	23.9%	21.2%	20.7%	13.5%	19.4%	0.0%	20.8%
多言語に対応した観光案内や 音声同時通訳システム、無人 店舗など「観光・商業」分野	25.5%	16.8%	22.0%	20.6%	23.9%	20.0%	15.6%	21.8%	13.9%	11.1%	21.4%
その他	1.4%	3.5%	1.0%	2.2%	0.4%	0.0%	1.7%	1.5%	2.8%	0.0%	1.4%

7 長野大学をはじめとする市内の大学等について

問9-1 長野大学についてどのようなことを知っていますか(すべて選択)。

- 長野大学について知っていることとして、「公立大学であること」が73.8%と最も高く、次いで「社会福祉学部があること」が55.7%と高くなっている。こうした一方、43.9%が「名前は知っているが、詳しくは知らない」と回答している。

図表 58 長野大学について知っている事項



- 年代別にみると、20 歳代以下、30 歳代、40 歳代は「公立大学であること」の回答割合が市全体（73.8%）に比べて低く、それぞれ 66.4%（7.4 ポイント差）、63.8%（10.0 ポイント差）、70.8%（3.0 ポイント差）となっている。
- 「社会福祉学部があること」の回答割合をみると、若い年代ほど低い傾向にあり、20 歳代以下では 34.4%（市全体に比べ 21.3 ポイント差）となっている。

図表 59 【性別】長野大学について知っている事項

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
公立大学であること	73.3%	74.7%	25.0%	66.7%	42.9%	73.8%
社会福祉学部があること	52.3%	58.8%	0.0%	41.7%	42.9%	55.7%
環境ツーリズム学部があること	36.2%	34.4%	25.0%	41.7%	42.9%	35.2%
企業情報学部があること	22.6%	19.1%	0.0%	25.0%	28.6%	20.7%
地域貢献活動に力を入れていること	33.3%	36.4%	25.0%	50.0%	42.9%	35.1%
理工系学部(情報系学部)が新設されること	19.4%	15.9%	0.0%	16.7%	14.3%	17.4%
名前は知っているが、詳しくは知らない	42.6%	45.4%	50.0%	25.0%	14.3%	43.9%
県内より県外からの学生が多いこと	30.5%	33.8%	25.0%	33.3%	28.6%	32.3%
その他	3.0%	1.6%	0.0%	8.3%	0.0%	2.3%

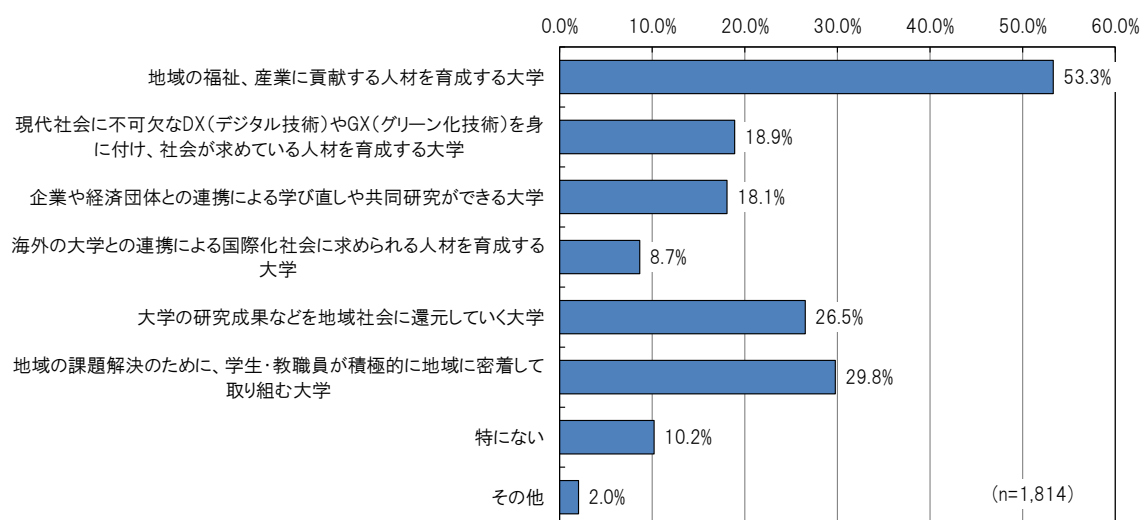
図表 60 【年代別】長野大学について知っている事項

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
公立大学であること	66.4%	63.8%	70.8%	78.2%	79.5%	73.9%	60.0%	73.8%
社会福祉学部があること	34.4%	42.1%	53.7%	58.9%	66.7%	56.3%	60.0%	55.7%
環境ツーリズム学部があること	31.2%	26.3%	36.1%	39.6%	39.5%	33.6%	50.0%	35.2%
企業情報学部があること	16.0%	14.5%	19.9%	19.6%	23.4%	22.2%	20.0%	20.7%
地域貢献活動に力を入れていること	24.8%	21.1%	24.5%	26.9%	40.6%	43.5%	60.0%	35.1%
理工系学部(情報系学部)が新設されること	15.2%	9.2%	8.8%	13.8%	16.1%	24.5%	10.0%	17.4%
名前は知っているが、詳しくは知らない	41.6%	49.3%	42.1%	36.7%	42.7%	47.4%	30.0%	43.9%
県内より県外からの学生が多いこと	16.8%	15.8%	21.8%	30.9%	36.3%	40.5%	40.0%	32.3%
その他	1.6%	1.3%	2.3%	2.9%	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%

問9-2 長野大学がどのような大学であってほしいと思いますか(2つまで選択)。

- 長野大学がどのような大学であってほしいと思うかについては、「地域の福祉、産業に貢献する人材を育成する大学」が53.3%と突出して高く、次いで「地域の課題解決のために、学生・教職員が積極的に地域に密着して取り組む大学」(29.8%)、「大学の研究成果などを地域社会に還元していく大学」(26.5%)が続く。

図表 61 長野大学がどのような大学であってほしいと思うか



- 年代別にみると、概ね年代が高いほど「地域の福祉、産業に必要な人材を育成する大学」の回答割合が高い傾向にある。
- 他の年代に比べ、30歳代では、「現代社会に不可欠なDX（デジタル技術）やGX（グリーン化技術）を身に付け、社会が求めている人材を育成する大学」の回答割合も高い。

図表 62 【性別】長野大学がどのような大学であってほしいと思うか

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
地域の福祉、産業に貢献する人材を育成する大学	52.2%	54.4%	50.0%	41.7%	42.9%	53.3%
GX(グリーン化技術)を身に付け、社会が求めている人材を育成する大学	22.8%	15.9%	25.0%	8.3%	14.3%	18.9%
企業や経済団体との連携による学び直しや共同研究ができる大学	17.5%	18.6%	50.0%	8.3%	0.0%	18.1%
海外の大学との連携による国際化社会に求められる人材を育成する大学	7.8%	9.3%	0.0%	16.7%	0.0%	8.7%
大学の研究成果などを地域社会に還元していく大学	27.5%	25.6%	0.0%	41.7%	42.9%	26.5%
地域の課題解決のために、学生・教職員が積極的に地域に密着して取り組む大学	27.5%	31.9%	0.0%	25.0%	14.3%	29.8%
特になし	10.6%	9.8%	25.0%	16.7%	0.0%	10.2%
その他	2.4%	1.7%	0.0%	8.3%	0.0%	2.0%

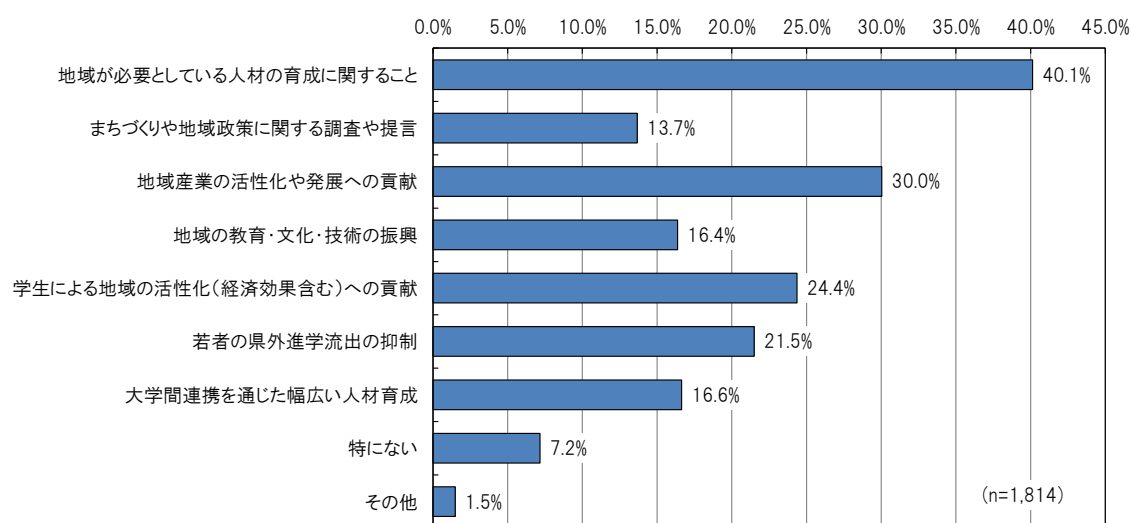
図表 63 【年代別】長野大学がどのような大学であってほしいと思うか

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
地域の福祉、産業に貢献する人材を育成する大学	40.0%	42.8%	52.8%	50.2%	61.1%	55.5%	60.0%	53.3%
GX(グリーン化技術)を身に付け、社会が求めている人材を育成する大学	15.2%	26.3%	21.3%	19.6%	16.7%	18.2%	10.0%	18.9%
企業や経済団体との連携による学び直しや共同研究ができる大学	22.4%	16.4%	16.7%	22.9%	19.0%	16.0%	0.0%	18.1%
海外の大学との連携による国際化社会に求められる人材を育成する大学	15.2%	13.2%	6.5%	7.3%	6.4%	8.9%	0.0%	8.7%
大学の研究成果などを地域社会に還元していく大学	18.4%	21.7%	26.9%	23.3%	32.7%	26.9%	40.0%	26.5%
地域の課題解決のために、学生・教職員が積極的に地域に密着して取り組む大学	24.0%	28.9%	30.1%	26.5%	31.3%	31.4%	30.0%	29.8%
特になし	21.6%	13.2%	13.9%	12.7%	10.5%	5.3%	0.0%	10.2%
その他	0.8%	4.6%	2.3%	1.8%	1.5%	2.0%	0.0%	2.0%

問9-3 市内にある大学等がどのような形で地域に貢献するのがふさわしいと思いますか(2つまで選択)。

- 市内にある大学等がどのような形で貢献するのがふさわしいと思うかについては、「地域が必要としている人材の育成に関すること」が 40.1%で最も高く、次いで「地域産業の活性化や発展への貢献」が 30.0%となっている。

図表 64 市内にある大学等がどのような形で貢献するのがふさわしいと思うか



- 年代別にみると、20歳代以下、30歳代、50歳代では、「地域が必要としている人材の育成に関すること」に次いで、「学生による地域の活性化（経済効果含む）への貢献」の回答割合が高くなっている。

図表 65 【性別】市内にある大学等がどのような形で貢献するのがふさわしいと思うか

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
地域が必要としている人材の育成に関すること	41.4%	39.7%	25.0%	8.3%	28.6%	40.1%
まちづくりや地域政策に関する調査や提言	14.2%	13.0%	25.0%	16.7%	28.6%	13.7%
地域産業の活性化や発展への貢献	32.5%	28.2%	50.0%	25.0%	14.3%	30.0%
地域の教育・文化・技術の振興	14.9%	17.5%	0.0%	16.7%	28.6%	16.4%
学生による地域の活性化（経済効果含む）への貢献	22.3%	26.0%	25.0%	33.3%	14.3%	24.4%
若者の県外進学流出の抑制	22.6%	20.9%	0.0%	16.7%	0.0%	21.5%
大学間連携を通じた幅広い人材育成	15.4%	17.7%	0.0%	25.0%	0.0%	16.6%
特にない	7.8%	6.5%	25.0%	16.7%	0.0%	7.2%
その他	1.9%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%

図表 66 【年代別】市内にある大学等がどのような形で貢献するのがふさわしいと思うか

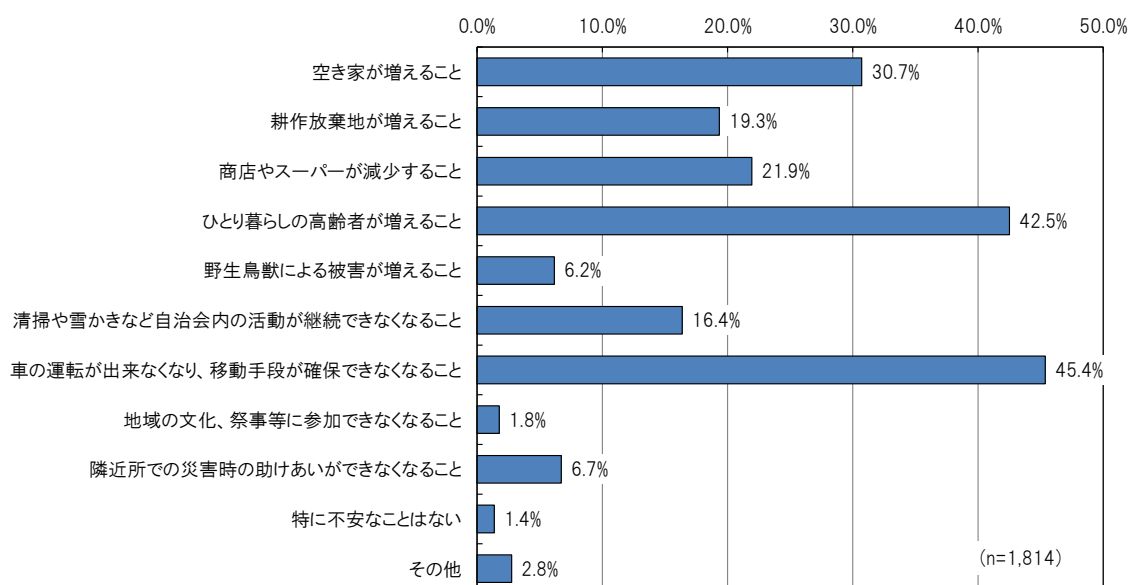
	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
地域が必要としている人材の育成に関すること	38.4%	36.2%	39.4%	35.3%	41.5%	42.8%	40.0%	40.1%
まちづくりや地域政策に関する調査や提言	13.6%	15.8%	17.1%	13.8%	13.7%	11.7%	40.0%	13.7%
地域産業の活性化や発展への貢献	24.8%	24.3%	33.8%	28.0%	30.1%	31.8%	30.0%	30.0%
地域の教育・文化・技術の振興	16.0%	26.3%	12.0%	15.3%	17.5%	15.4%	20.0%	16.4%
学生による地域の活性化（経済効果含む）への貢献	27.2%	31.6%	25.0%	28.4%	26.6%	19.5%	20.0%	24.4%
若者の県外進学流出の抑制	18.4%	19.1%	23.1%	20.0%	23.4%	22.0%	0.0%	21.5%
大学間連携を通じた幅広い人材育成	17.6%	11.8%	17.1%	18.2%	18.1%	16.1%	10.0%	16.6%
特にない	10.4%	5.3%	7.4%	9.1%	8.2%	5.8%	0.0%	7.2%
その他	1.6%	3.9%	1.4%	0.7%	1.5%	1.3%	0.0%	1.5%

8 上田市の将来について

問10-1 少子高齢化、人口減少が進む中であって、今後、上田市で暮らしていく上で、どのようなことに不安を感じますか(2つまで選択)。

- 少子高齢化・人口減少が進む中、今後上田市で暮らしていく上で不安を感じる事柄については、「車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなること」(45.4%)、「ひとり暮らしの高齢者が増えること」(42.5%)が高く、次いで「空き家が増えること」(30.7%)となっている。

図表 67 今後、上田市で暮らしていく上で不安を感じる事項



- 年代別にみると、「車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなる」とは、上の年代で高い傾向にあり、40歳代以上はいずれも45%超という結果となった。
- 「ひとり暮らしの高齢者が増えること」は特に「70歳代以上」が高く、約半数の47.6%が回答した。
- 「商店やスーパーが減少すること」は、20歳代以下、30歳代において他の年代に比べて高く、いずれも3割超が回答した。

図表 68 【性別】今後、上田市で暮らしていく上で不安に感じる事項

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
空き家が増えること	32.9%	29.2%	25.0%	16.7%	28.6%	30.7%
耕作放棄地が増えること	21.4%	18.0%	0.0%	8.3%	0.0%	19.3%
商店やスーパーが減少すること	22.4%	21.5%	25.0%	25.0%	14.3%	21.9%
ひとり暮らしの高齢者が増えること	41.2%	43.3%	100.0%	50.0%	28.6%	42.5%
野生鳥獣による被害が増えること	7.7%	4.9%	0.0%	16.7%	0.0%	6.2%
清掃や雪かきなど自治会内の活動が継続できなくなる	15.5%	17.3%	0.0%	8.3%	0.0%	16.4%
車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなる	41.9%	48.4%	50.0%	41.7%	14.3%	45.4%
地域の文化、祭事等に参加できなくなる	2.6%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
隣近所での災害時の助けあいができなくなる	6.7%	6.8%	0.0%	8.3%	0.0%	6.7%
特に不安なことはない	1.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
その他	3.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%

図表 69 【年代別】今後、上田市で暮らしていく上で不安に感じる事項

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
空き家が増えること	24.8%	32.2%	29.2%	30.5%	35.4%	29.8%	20.0%	30.7%
耕作放棄地が増えること	14.4%	13.2%	14.4%	17.8%	19.0%	23.9%	20.0%	19.3%
商店やスーパーが減少すること	34.4%	33.6%	26.9%	26.2%	22.8%	13.7%	10.0%	21.9%
ひとり暮らしの高齢者が増えること	40.0%	33.6%	37.5%	38.9%	43.3%	47.6%	40.0%	42.5%
野生鳥獣による被害が増えること	7.2%	2.6%	5.1%	5.5%	6.4%	7.2%	10.0%	6.2%
清掃や雪かきなど自治会内の活動が継続できなくなる	17.6%	13.8%	18.1%	16.0%	15.2%	17.1%	0.0%	16.4%
車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなる	36.0%	38.8%	46.3%	48.0%	49.4%	45.4%	30.0%	45.4%
地域の文化、祭事等に参加できなくなる	1.6%	5.9%	1.4%	0.7%	1.2%	1.7%	0.0%	1.8%
隣近所での災害時の助けあいができなくなる	4.8%	6.6%	6.0%	6.9%	3.8%	8.6%	10.0%	6.7%
特に不安なことはない	1.6%	2.0%	3.7%	1.5%	0.6%	0.9%	0.0%	1.4%
その他	2.4%	4.6%	6.9%	3.3%	0.6%	2.0%	0.0%	2.8%

- 地区別にみると、「車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなる」とは、川西地域、真田地域、武石地域で特に高く、市全体の 45.4% に対し、それぞれ 51.8% (6.4 ポイント差)、56.4% (11.0 ポイント差)、69.4% (24.0 ポイント差) が回答している。
- 「ひとり暮らしの高齢者が増えること」については、市全体に比べて上田中央地域、上田城南地域の回答割合が高く、市全体が 42.5% であるのに対し、それぞれ 44.7% (2.2 ポイント差)、47.8% (5.3 ポイント差) となっている。
- 「空き家が増えること」については、市全体に比べて上田西部地域、丸子地域で高く、市全体が 30.7% であるのに対し、それぞれ 36.3% (5.6 ポイント差)、36.7% (6.0 ポイント差) となっている。
- 「商店やスーパーが減少すること」については、市全体に比べて上田中央地域、武石地域で高く、市全体が 21.9% であるのに対し、それぞれ 29.6% (7.7 ポイント差)、27.8% (5.9 ポイント差) となっている。
- 「耕作放棄地が増えること」については、塩田地域、武石地域で高く、市全体が 19.3% であるのに対し、それぞれ 26.3% (7.0 ポイント差)、27.8% (8.5 ポイント差) となっている。

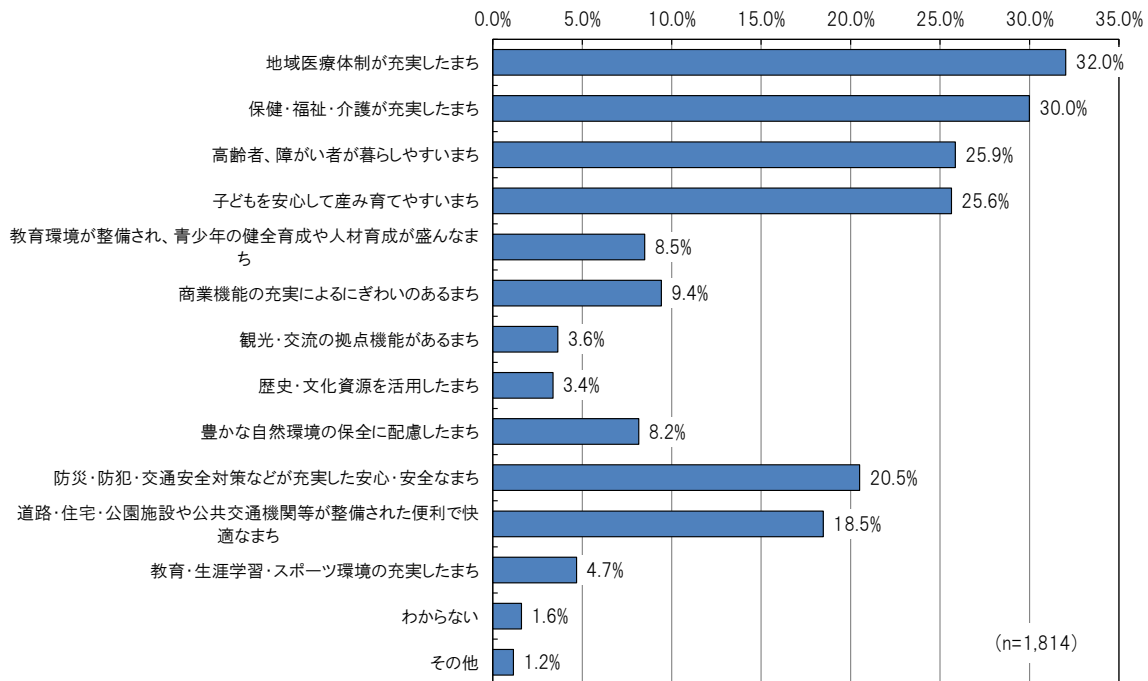
図表 70 【居住地域別】今後、上田市で暮らしていく上で不安に感じる事項

	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
空き家が増えること	32.8%	36.3%	27.8%	19.3%	35.9%	25.9%	36.7%	28.6%	25.0%	33.3%	30.7%
耕作放棄地が増えること	14.4%	15.9%	16.5%	20.6%	26.3%	24.7%	21.9%	19.5%	27.8%	11.1%	19.3%
商店やスーパーが減少すること	29.6%	17.7%	18.2%	24.7%	17.1%	16.5%	19.4%	18.8%	27.8%	33.3%	21.9%
ひとり暮らしの高齢者が増えること	44.7%	42.5%	47.8%	39.5%	39.8%	36.5%	43.5%	37.6%	41.7%	22.2%	42.5%
野生鳥獣による被害が増えること	4.6%	3.5%	3.8%	8.5%	6.4%	9.4%	5.5%	12.8%	8.3%	11.1%	6.2%
清掃や雪かきなど自治会内の活動が継続できなくなる	16.3%	9.7%	17.2%	17.9%	15.1%	29.4%	16.9%	12.8%	13.9%	0.0%	16.4%
車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなる	37.8%	43.4%	45.7%	50.2%	47.4%	51.8%	41.8%	56.4%	69.4%	22.2%	45.4%
地域の文化、祭事等に参加できなくなる	2.5%	3.5%	3.1%	0.4%	0.8%	0.0%	1.7%	0.0%	2.8%	0.0%	1.8%
隣近所での災害時の助けあいができなくなる	8.7%	8.0%	8.6%	8.1%	4.8%	4.7%	4.2%	3.0%	5.6%	0.0%	6.7%
特に不安なことはない	1.1%	3.5%	2.4%	1.3%	1.2%	0.0%	0.4%	0.8%	2.8%	0.0%	1.4%
その他	3.4%	0.0%	1.4%	2.2%	5.2%	2.4%	3.0%	1.5%	5.6%	0.0%	2.8%

問10-2 あなたの住んでいる地域は、将来どんな地域になったら良いと思いますか(2つまで選択)。

- 現在住んでいる地域が将来どんな地域になったら良いと思うかについては、「地域医療体制が充実したまち」が32.0%で最も高く、次いで「保険・福祉・介護が充実したまち」(30.0%)、「高齢者、障がい者が暮らしやすいまち」(25.9%)、「子どもを安心して産み育てやすいまち」(25.6%)が高い結果となった。

図表 71 将来、どのような地域になったら良いと思うか



図表 72 【性別】将来、どのような地域になったら良いと思うか

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない(n=12)	無回答(n=7)	全体(n=1814)
地域医療体制が充実したまち	29.9%	33.8%	50.0%	33.3%	14.3%	32.0%
保健・福祉・介護が充実したまち	25.5%	33.6%	25.0%	41.7%	14.3%	30.0%
高齢者、障がい者が暮らしやすいまち	24.5%	27.0%	50.0%	16.7%	28.6%	25.9%
子どもを安心して産み育てやすいまち	26.0%	25.6%	25.0%	16.7%	14.3%	25.6%
教育環境が整備され、青少年の健全育成や人材育成が盛んなまち	9.8%	7.5%	0.0%	8.3%	0.0%	8.5%
商業機能の充実によるにぎわいのあるまち	11.0%	8.3%	25.0%	0.0%	0.0%	9.4%
観光・交流の拠点機能があるまち	4.9%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
歴史・文化資源を活用したまち	4.4%	2.5%	0.0%	8.3%	0.0%	3.4%
豊かな自然環境の保全に配慮したまち	9.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%
防災・防犯・交通安全対策などが充実した安心・安全なまち	22.4%	19.2%	0.0%	8.3%	14.3%	20.5%
道路・住宅・公園施設や公共交通機関等が整備された便利で快適なまち	18.9%	18.1%	0.0%	33.3%	0.0%	18.5%
教育・生涯学習・スポーツ環境の充実したまち	5.7%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%
わからない	1.8%	1.4%	0.0%	8.3%	0.0%	1.6%
その他	1.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%

- 年代別にみると、「地域医療体制が充実したまち」は、30 歳代、50 歳代以上において他の年代に比べて高くなっている。
- 「保健・福祉・介護が充実したまち」は、50 歳代以上において他の年代に比べて高くいずれも 3 割以上が回答している。
- 「子どもを安心して産み育てやすいまち」は、20 歳代以下、30 歳代で特に高く、市全体が 25.6%であるのに対し、それぞれ 41.6% (16.0 ポイント差)、49.3% (23.7 ポイント差) が回答している。

図表 73 【年代別】将来、どのような地域になったら良いと思うか

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
地域医療体制が充実したまち	20.8%	32.2%	27.8%	33.1%	36.8%	32.4%	40.0%	32.0%
保健・福祉・介護が充実したまち	23.2%	17.1%	23.6%	30.2%	31.9%	35.2%	20.0%	30.0%
高齢者、障がい者が暮らしやすいまち	8.0%	12.5%	19.4%	26.2%	31.3%	31.0%	40.0%	25.9%
子どもを安心して産み育てやすいまち	41.6%	49.3%	28.2%	20.0%	23.1%	20.3%	20.0%	25.6%
教育環境が整備され、青少年の健全育成や人材育成が盛んなまち	13.6%	10.5%	9.7%	9.1%	5.3%	8.2%	0.0%	8.5%
商業機能の充実によるにぎわいのあるまち	18.4%	13.8%	16.7%	9.5%	8.2%	5.3%	0.0%	9.4%
観光・交流の拠点機能があるまち	5.6%	6.6%	5.1%	5.1%	2.9%	2.0%	0.0%	3.6%
歴史・文化資源を活用したまち	2.4%	4.6%	3.2%	3.3%	4.4%	2.9%	0.0%	3.4%
豊かな自然環境の保全に配慮したまち	9.6%	5.3%	8.8%	8.7%	11.1%	6.8%	0.0%	8.2%
防災・防犯・交通安全対策などが充実した安心・安全なまち	14.4%	13.2%	15.3%	18.5%	21.6%	25.1%	20.0%	20.5%
道路・住宅・公園施設や公共交通機関等が整備された便利で快適なまち	22.4%	16.4%	26.9%	21.8%	16.1%	15.7%	0.0%	18.5%
教育・生涯学習・スポーツ環境の充実したまち	7.2%	9.9%	8.3%	3.6%	3.2%	3.2%	0.0%	4.7%
わからない	1.6%	0.7%	0.5%	1.8%	1.5%	2.2%	0.0%	1.6%
その他	0.0%	2.6%	2.3%	1.1%	0.6%	1.0%	0.0%	1.2%

- 地域別にみると、「地域医療体制が充実したまち」は、上田中央地域で特に高く、市全体が 32.0%であるのに対し、36.5%（4.5 ポイント差）が回答している。
- 「子どもを安心して産み育てやすいまち」は、川西地域、武石地域で高く、市全体が 25.6%であるのに対し、それぞれ 36.5%（10.9 ポイント差）、30.6%（5.0 ポイント差）が回答している。

図表 74 【居住地域別】将来、どのような地域になったら良いと思うか

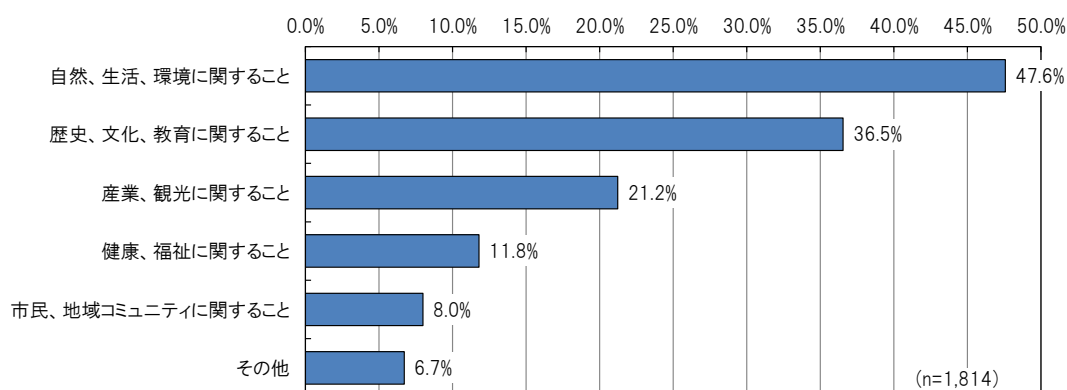
	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
地域医療体制が充実したまち	36.5%	29.2%	33.7%	33.6%	33.5%	34.1%	21.5%	30.1%	27.8%	22.2%	32.0%
保健・福祉・介護が充実したまち	27.8%	37.2%	30.6%	29.6%	33.5%	22.4%	30.8%	27.8%	30.6%	22.2%	30.0%
高齢者、障がい者が暮らしやすいまち	23.9%	24.8%	24.7%	23.3%	26.3%	34.1%	27.4%	28.6%	30.6%	44.4%	25.9%
子どもを安心して産み育てやすいまち	27.1%	19.5%	24.1%	27.4%	23.5%	36.5%	24.5%	25.6%	30.6%	11.1%	25.6%
教育環境が整備され、青少年の健全育成や人材育成が盛んなまち	8.9%	7.1%	7.2%	10.8%	8.8%	10.6%	8.0%	8.3%	2.8%	0.0%	8.5%
商業機能の充実によるにぎわいのあるまち	12.8%	7.1%	10.7%	7.6%	7.6%	8.2%	8.9%	7.5%	2.8%	11.1%	9.4%
観光・交流の拠点機能があるまち	5.0%	2.7%	3.1%	1.8%	4.0%	2.4%	5.1%	2.3%	2.8%	0.0%	3.6%
歴史・文化資源を活用したまち	4.4%	1.8%	2.1%	4.5%	5.6%	1.2%	1.7%	3.0%	2.8%	0.0%	3.4%
豊かな自然環境の保全に配慮したまち	5.0%	5.3%	8.6%	4.9%	10.4%	11.8%	10.1%	13.5%	16.7%	0.0%	8.2%
防災・防犯・交通安全対策などが充実した安心・安全なまち	19.3%	23.0%	21.3%	19.7%	19.1%	12.9%	24.1%	21.8%	25.0%	22.2%	20.5%
道路・住宅・公園施設や公共交通機関等が整備された便利で快適なまち	17.7%	17.7%	17.2%	23.3%	16.3%	16.5%	21.9%	15.8%	22.2%	0.0%	18.5%
教育・生涯学習・スポーツ環境の充実したまち	6.0%	5.3%	4.5%	3.6%	3.2%	4.7%	5.9%	4.5%	0.0%	0.0%	4.7%
わからない	1.6%	2.7%	1.0%	1.8%	1.6%	0.0%	2.1%	2.3%	0.0%	0.0%	1.6%
その他	1.1%	0.9%	2.4%	0.4%	1.6%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	1.2%

9 上田市の自慢できること・ものについて

問11 「上田市の自慢できること・もの」は何ですか。当てはまる分野を3つまで選び、内容を自由にご回答ください。

- 上田市の自慢できること・ものについては、「自然、生活、環境に関すること」が47.6%と最も高く、次いで「歴史、文化、教育に関すること」が36.5%と高い。

図表 75 上田市の自慢できること・もの



図表 76 【性別】上田市の自慢できること・もの

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
自然、生活、環境に関すること	46.7%	48.6%	50.0%	41.7%	14.3%	47.6%
歴史、文化、教育に関すること	39.3%	34.4%	0.0%	50.0%	28.6%	36.5%
産業、観光に関すること	22.4%	20.5%	0.0%	8.3%	14.3%	21.2%
健康、福祉に関すること	11.1%	12.4%	0.0%	8.3%	14.3%	11.8%
市民、地域コミュニティに関すること	7.1%	8.8%	0.0%	8.3%	0.0%	8.0%
その他	7.6%	6.0%	0.0%	16.7%	0.0%	6.7%

図表 77 【年代別】上田市の自慢できること・もの

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
自然、生活、環境に関すること	45.6%	40.8%	47.2%	45.1%	52.0%	48.6%	30.0%	47.6%
歴史、文化、教育に関すること	32.8%	31.6%	33.8%	32.7%	38.6%	39.6%	40.0%	36.5%
産業、観光に関すること	23.2%	23.7%	21.3%	20.0%	20.8%	21.2%	10.0%	21.2%
健康、福祉に関すること	3.2%	3.3%	4.2%	7.3%	10.2%	20.0%	20.0%	11.8%
市民、地域コミュニティに関すること	9.6%	5.9%	4.6%	3.3%	8.5%	11.0%	0.0%	8.0%
その他	8.0%	5.9%	10.6%	9.1%	6.1%	4.8%	10.0%	6.7%

- 地区別にみると、上田中央地域、塩田地域は、「歴史、文化、教育に関すること」の回答割合が高く、市全体が 36.5%であるのに対し、それぞれ 42.4% (5.9 ポイント差)、41.8% (5.3 ポイント差) が回答している。

図表 78 【居住地域別】上田市の自慢できること・もの

	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
自然、生活、環境に関すること	50.2%	40.7%	46.7%	47.5%	48.2%	44.7%	45.6%	52.6%	47.2%	22.2%	47.6%
歴史、文化、教育に関すること	42.4%	36.3%	33.7%	33.2%	41.8%	29.4%	34.2%	29.3%	33.3%	33.3%	36.5%
産業、観光に関すること	23.6%	18.6%	21.6%	18.4%	19.5%	20.0%	23.6%	17.3%	30.6%	11.1%	21.2%
健康、福祉に関すること	11.7%	7.1%	9.6%	13.9%	8.4%	11.8%	18.1%	10.5%	16.7%	22.2%	11.8%
市民、地域コミュニティに関すること	6.9%	11.5%	7.9%	7.2%	8.0%	9.4%	7.6%	11.3%	5.6%	0.0%	8.0%
その他	6.4%	3.5%	10.7%	7.6%	4.0%	4.7%	6.3%	6.8%	11.1%	0.0%	6.7%

図表 79 主な意見(抜粋)

1 自然、生活、環境に関すること

きれいな大気と豊かな緑
 まだまだ自然が多く美しい
 緑ゆたかな環境であること
 気候が良い、すごしやすい
 空気が澄んでいて、星空がきれいなこと
 山、川がきれい
 四季折々の雄大な自然を堪能できること
 塩田平のお米作りとため池、四季折々の美しい景色があること
 自然が豊か
 晴天率が高いこと
 雨が少ない
 日照時間が長い
 田舎過ぎず都会過ぎず丁度良い
 生活に必要な買い物施設が一通り揃っていること
 新幹線が通り停車する事
 災害が少ない
 ゴミの分別が他の市より厳しい(と言われている)こと。環境に配慮できていると思います
 車の運転マナーが良いことは他にも通じること
 松茸の産地であること

温泉が多い

上田城など観光地がある

菅平高原、美ヶ原高原

千曲川

太郎山など里山がある

2 歴史、文化、教育に関すること

古代から現代まで豊富な文化財や事象が残されている

史跡や鎌倉幕府と縁深い寺が多い。いわゆる「信州の鎌倉」、国宝や重文も多い

塩田平の歴史、文化遺産のある事

真田幸村などの戦国時代の武将出身地であること

真田丸によって上田市は有名になったと思うので、もっともっと全国的にアピールする必要があると思う

上田城跡公園、真田氏ゆかりの施設がある

城下町の景観が美しい

上田城、信州の鎌倉、別所、鹿教湯温泉

別所温泉の北向観音、寺院、塩田の生島足島神社な歴史的文化遺産に恵まれている

歴史的な寺社仏閣、城址などがある

サントミュージゼという素晴らしい文化施設がある

映画、ドラマ、アニメのロケ地が多いこと

上田映劇が活躍していること

図書館はどこで返却しても良いので便利だと思います

長野大学、信州大学

3 産業、観光に関すること

企業がたくさんあり、会社、工場が多い

基幹産業を下支えする特徴ある技術をもった企業の存在

アリオもイオンもあって買い物に困らない

おいしい食べ物がたくさんある（農産物）

観光資源が豊富

歴史的史跡や温泉など、観光スポットがコンパクトにまとまっていて訪れやすいこと

温泉が多い

鹿教湯温泉、別所温泉の観光地である

上田城跡公園

春は上田城の千本さくらのライトアップがきれいで観光客が多い

わっしょい、花火、千本桜、真田まつり

特産のマツタケを生かして、秋のマツタケ山の観光が有名であること

菅平高原を中心にスポーツ産業が発達している

新幹線が走り、都会へのアクセスが便利

飲食店が多く、美味だれやじまん焼きと幅広いグルメが楽しめること

美味ダレ焼き鳥、あんかけ焼きそばなどがある

4 健康、福祉に関すること

病院や介護施設が適度にあるので安心できる
 医療センター、丸子中央病院、開業医等の充実
 国立病院があること
 鹿教湯リハビリセンター
 80 歳以上は無料で送迎付で福祉施設を使える等
 障がい者に対する福祉が手厚い
 福祉施設がカフェなど地域住民の憩いの場所を提供してくれている
 行政による運動教室があること
 「うえいく」で運動するのが楽しい
 健康診断結果のフォローが充実している
 ひとまちげんきが出来て良かったと思う
 未満児のふれあい広場などたくさんの会場でやっていただいているありがたい
 温泉施設が多いこと

5 市民、地域コミュニティに関すること

各自治会を中心にしたコミュニティの活発な活動
 公民館活動が活発であること
 自治会活動が活発であり行政と連携していること
 地方都市が持つ支え合いの基盤が残っている
 市民団体や NPO などが元気に活動している
 上田・丸子・真田各文化協会や上田自由塾など文化がさかん
 地域住民だけでなく大学生などが情報発信や企画・イベントを行い活性化をはかろうとしている
 (ハナサカ軍ティ、ランタン、別所線 etc)
 「ひとまちげんき」子育て相談からお年寄りのことまで行き届いている
 ごみ出し場の衛生管理がしっかりしているので気持ち良くごみを出せる
 サントミューゼがあり、さまざまなイベントが楽しめる
 以前と比較して中心地に新しいお店が増え、活性化してきていること。(とくに県外からの移住者による飲食店など)

6 その他

県内の他の主要都市にそれぞれ遠からず、新幹線も止まり、立地的な条件が良い
 東京へのアクセスが良いこと
 高速道路、新幹線があり、他県への交通の便がよい
 「オレンジバス」「循環バス」交通弱者に対する配慮に本当に感謝しています
 自動車運転者が歩行者に対し優しい
 毎朝小学生の登校時間には大人の見守りがあるので安心して送り出せる
 犯罪が少ない事
 地域のために、地域の方達のために一生懸命考え努力している人達が近くにいる。その人たちが

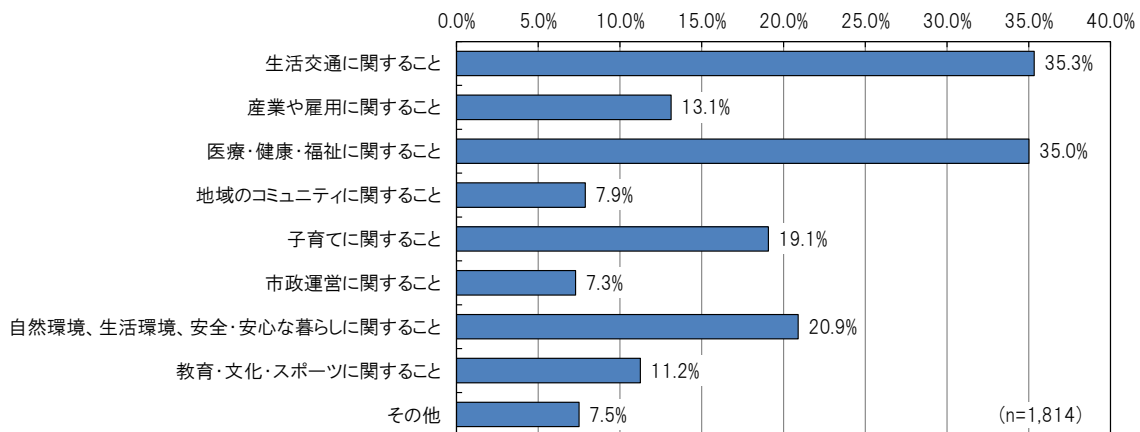
自慢。目立たない小さな力だけれどすごい力だと思う
マルチメディアセンターでパソコンの苦手な人にも門戸を開いて教えてくれる
チケット QR は良いので更に継続してほしい
最低気温全国一位となる所があること
じまん焼き、あんかけ焼きそば、美味だれ、松茸、そば

10 今後のまちづくりについて

問12 今後のまちづくりや市政についてご意見・ご要望、ご提案などがありましたら、当てはまる分野を3つまで選び、内容を自由にご回答ください。

- 今後のまちづくりや市政についてのご意見・ご要望、ご提案については、「生活交通に関すること」(35.3%)、「医療・健康・福祉に関すること」(35.0%)が突出して多い。

図表 80 今後のまちづくりや市政についてのご意見・ご要望、ご提案



図表 81 【性別】今後のまちづくりや市政についてのご意見・ご要望、ご提案

	男性(n=793)	女性(n=998)	その他(n=4)	回答しない (n=12)	無回答(n=7)	全体 (n=1814)
生活交通に関すること	34.4%	36.5%	25.0%	25.0%	0.0%	35.3%
産業や雇用に関すること	14.2%	12.3%	0.0%	8.3%	14.3%	13.1%
医療・健康・福祉に関すること	31.1%	38.0%	75.0%	33.3%	28.6%	35.0%
地域のコミュニティに関すること	7.9%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%
子育てに関すること	16.8%	20.9%	0.0%	25.0%	14.3%	19.1%
市政運営に関すること	8.6%	6.0%	25.0%	16.7%	14.3%	7.3%
自然環境、生活環境、安全・安心な暮らしに関すること	20.6%	21.1%	0.0%	25.0%	28.6%	20.9%
教育・文化・スポーツに関すること	11.1%	11.1%	0.0%	33.3%	14.3%	11.2%
その他	7.9%	7.2%	0.0%	8.3%	0.0%	7.5%

- 年代別にみると、30歳代は「子育てに関すること」の回答割合が突出して高く、42.1%（市全体と比べて23.0ポイント差）が回答している。
- 地域別にみると、川西地域、丸子地域、真田地域、武石地域では「生活交通に関すること」の回答割合が4割を超えている。

図表 82 【年代別】今後のまちづくりや市政についてのご意見・ご要望、ご提案

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
生活交通に関すること	32.8%	27.0%	29.6%	37.5%	38.0%	37.6%	10.0%	35.3%
産業や雇用に関すること	11.2%	12.5%	11.6%	13.1%	12.6%	14.3%	20.0%	13.1%
医療・健康・福祉に関すること	17.6%	30.9%	25.9%	31.3%	43.3%	38.9%	60.0%	35.0%
地域のコミュニティに関すること	6.4%	5.3%	5.1%	6.9%	9.4%	9.4%	0.0%	7.9%
子育てに関すること	20.8%	42.1%	22.2%	16.0%	18.7%	14.1%	20.0%	19.1%
市政運営に関すること	6.4%	7.2%	8.8%	4.7%	5.0%	8.9%	20.0%	7.3%
自然環境、生活環境、安全・安心な暮らしに関すること	13.6%	12.5%	12.5%	20.4%	20.5%	26.9%	30.0%	20.9%
教育・文化・スポーツに関すること	12.8%	9.9%	15.7%	10.9%	10.5%	10.4%	10.0%	11.2%
その他	8.8%	8.6%	8.8%	8.0%	8.2%	6.2%	0.0%	7.5%

図表 83 【居住地域別】今後のまちづくりや市政についてのご意見・ご要望、ご提案

	上田中央地域 (東部、南部、 中央、北部、 神川地区) (n=436)	上田西部地域 (西部、塩尻 地区) (n=113)	上田城南地域 (城下、川辺・ 泉田地区) (n=291)	神科・豊殿地 域(神科、豊 殿地区) (n=223)	塩田地域(東 塩田、中塩 田、西塩田、 別所温泉地 区)(n=251)	川西地域(川 西地区) (n=85)	丸子地域(丸 子地区) (n=237)	真田地域(真 田地区) (n=133)	武石地域(武 石地区) (n=36)	無回答(n=9)	全体 (n=1814)
生活交通に関すること	30.5%	31.0%	31.6%	38.1%	32.3%	47.1%	41.4%	45.9%	41.7%	11.1%	35.3%
産業や雇用に関すること	13.1%	13.3%	13.4%	15.2%	11.2%	10.6%	13.9%	12.0%	16.7%	11.1%	13.1%
医療・健康・福祉に関すること	34.9%	38.9%	42.3%	39.5%	35.9%	28.2%	26.6%	28.6%	27.8%	33.3%	35.0%
地域のコミュニティに関すること	5.5%	7.1%	8.6%	8.1%	8.0%	3.5%	9.3%	11.3%	22.2%	0.0%	7.9%
子育てに関すること	21.1%	19.5%	16.8%	17.5%	19.1%	15.3%	22.4%	18.0%	13.9%	11.1%	19.1%
市政運営に関すること	7.6%	9.7%	7.2%	9.0%	6.4%	5.9%	7.2%	3.8%	5.6%	22.2%	7.3%
自然環境、生活環境、安全・安心な暮らしに関すること	19.0%	27.4%	18.2%	20.2%	24.3%	17.6%	22.4%	20.3%	22.2%	33.3%	20.9%
教育・文化・スポーツに関すること	13.8%	10.6%	11.3%	10.3%	12.0%	8.2%	10.1%	9.8%	2.8%	11.1%	11.2%
その他	6.2%	9.7%	8.2%	4.9%	8.0%	10.6%	9.3%	6.0%	11.1%	0.0%	7.5%

図表 84 主な意見(抜粋)

1 生活交通に関すること
市街地以外の公共機関の活性化 とにかく交通が不便、それこそ AI を駆使して山奥でも年寄りでも車が無くても安心して生活できるようにになるとよいと思う 交通の便が非常に悪い。年老いても気軽に外出出来るような交通システムを希望 高齢者が少額もしくは無料で利用できるバスなど（タクシーも） 運転免許返納後の交通手段 バスの運行を増やしてほしい 通学の為に親が送迎をしなくてもよいバスの運用 コミュニティバスの充実（車がなくても最低限買物に困らない） 丸子地域のデマンドをもっと広げてほしい R18 がとにかく混みすぎている 国道 143 号線（青木線）自転車道や歩道の整備をお願いします 国道 143 号線に横断歩道が少ないと感じています。福田の辺（特に）利用したい店が目の前にあるのに渡れず上下線の車の来る間を渡ろうとしてしまう。危険です 自転車が安全に走れる道路をふやしてほしい。歩行者と別のレーンをつくってほしい。商店街の道路を一方通行にして、車線を駐車スペースにしたらよい 道路の整備、街灯 歩行者・自転車が安全に交通できること（草だらけ） 生活道路はスピード上限を 40km/h 以下として、標識を立ててほしい 上田駅前の無料駐車スペース混雑時、迷惑駐車や順番待ちの列の緩和 別所線など私鉄の充実
2 産業や雇用に関すること
U ターンしたくなる産業の育成、県外、海外の人材の積極活用 若い世代の勤務先が少ない。転勤がなく、それなりの給与体制が整わないと永住地としての候補にならない 上田市をもっと活気づけられそうな若者の起業等を的確に見極め支援してほしい 電機メーカーばかりでなく、化学メーカーや出版社などの誘致、若者の U ターン 高齢でも働ける町 スキルを活かした職業移動の多様性の確保・各人の状況に合わせた労働環境の整備 技術を必要とする仕事を大切にしたい 企業の誘致 雇用が確保できる産業を誘致すべき 工場の誘致で雇用を増やすことで若者や人材を得てほしい 若者に魅力のある企業誘致を強力に進め、人口減を少しでも軽減する 駅前がさびしく観光する所がない 農業をしっかり支援してあげてほしい

自営業への補助を増やしてほしい

上田市が魅力ある市にならないければ産業も雇用も発展しない

3 医療・健康・福祉に関すること

安心してかかる医療体制を充実させてほしい

高度の医療ができる地域医療体制がほしい

急に具合が悪くなった時にスムーズに早く適切な医療機関に行けるようなシステムを考えてもらいたい

医療センターの充実を真剣に考えていただきたい

かかりつけ医院（紹介状）がなくても医療センターなどでも診療できれば便利

緊急医療体制、総合病院の充実。婦人科、出産できる病院を充実させる事

安心して子供を産める機関の拡充、医師の確保

産婦人科を増やしてほしい

医療機関が少なすぎる。子どもが夜間かかる病院も時間に限りがあり急変した際は困る。24時間の小児ダイヤルを開設してほしい

休日に対応してくれる小児科がなくて困った事があるのできちんと設けてほしいです

小児科を増やしてほしい

地域では老人が多く居ても往診、看取り医が少なく、老人が安心して在宅化ができない。地域に根差した医師がほしい

満18歳まで医療費の無償化してほしい

高齢者がスムーズに施設に入居できるようにして欲しい

福祉で働く人材が不足している。若い人達が福祉の現場で働きやすく、生活が安定していけるだけ保障してほしい

4 地域のコミュニティに関すること

高齢化が進みコミュニティが持続できなくなる前に対策して欲しい

自治会の見直し。重要性は理解するが、行事や集会が多く、子育て世代（共働き世代）は加入しづらい。自治会費も高額なため、自治会員を減少させる原因になっていると思う

自治会活動、自治会の意見をもう一度考えた方がいい。高齢の方と若者との考え方に差がありすぎる

若い人や移住者がまちをつくっていく主体性を育む仕掛けづくり

人口減により実現できない行事も多くなるが、住民全体で話し合いの場を設ける

1人暮らしの人が安心して住めるような町づくり

どの町も高齢者が多く、若者・子供が少ない。活気ある明るい地域にして欲しい。外国籍住民の多い上田市なので、もっと国際色豊かな街づくり。その人達の住みやすい上田市にして欲しい。共生のまちづくり

外国人や他の地域から人が自治会に必ず加盟し、地域の人々との交流ができるための行政からの応援が必要。加入は強制力をもたせたい。不平等をなくす

めったに雪が降らないが、高齢者世帯が増えているので、除雪車をもっと増やして住民の負担を少なくしてほしい

地震・災害等あった時安心できる地域作りを更に充実してほしい

5 子育てに関すること

安心して子どもを産んで育てられる市であってほしい

子供が急な病気の際、預けられる施設の充実

子供を産み育てていける環境がもっと拡大すると良い。働きながら育てられる療児保育の充実、障害児を預けて働ける環境が少ない

パパやママの参加するイベントを休日に多く開催してほしい。日にちかぶりを少なくしてほしい
子ども達が遊ぶ公園（遊具のある）場所が増え、室内の遊ぶ場所が増え、子ども達のがのびのび遊べるまちづくりを進めてほしい

街灯が少なく、冬など子供が歩くのに怖い、公園を増やして欲しい

全国的にですが、保育園の未満児の保育料も無償化を実現させてほしいです。それに伴い、保育士さん達の給料引き上げ、保育士さんの充実をさせる為に市政からがんばってほしいです。未来ある子ども達の為に大きく動いてほしいです

経済的な補助や、社会全体の意識の改革、子育てしながらも働けるなどの制度の確立で、子育てしたいと思う環境を整えてほしい

隣接する市町村に比べ、経済的支援が少ないと感じる。医療センターの産婦人科は予約しているのに何時間も院内で待たされるため妊婦に負担である。どんな年齢の子供も楽しめる総合公園がない

教育費の軽減

多子世帯への経済的支援

産婦人科の確立、子育て相談の窓口確立

小学校・中学校等の建屋の老朽化が進んでいる。改善して欲しい

子供を育てるのに老人も参加できる様な仕組みを考えてほしい

6 市政運営に関すること

市政で議論していることが、若者は知る機会がない。より参加しやすい仕組み作りがほしい
届け出など窓口の一本化

AI や自動運転などの先端技術の実証事業を支援してほしい

インターネット、スマホに依存することなく、全世代・全市民を念頭に調和のとれたコミュニティが確保できる市政運営をお願いしたい

インフラの修繕にもっとスピード感が欲しい

上下水道施設の老朽化に不安、早急に安全な暮らしにしてほしい

市営住宅の空き家を解体し住民が求める環境作りに取り組み、地域の活性化につなげて欲しい

夏祭り、花火等、現在の市民の生活感を考慮し縮小、回数減等して、市財の割り振りを考えてほしい

旧上田市以外の地域の活性化

新幹線の通勤補助金等を設けて、子育て世代を呼び込む

7 自然環境、生活環境、安全・安心な暮らしに関すること

自然環境や歴史的景観を守るため、保全活動に住民が参加しやすいような工夫、補助金、活動方法の支援など

市街地はもっと緑を増やして欲しいです。並木などは、それだけで観光の目的になると思います。
 樹木の手入れなど雇用にもつながると思います
 子供達が自然の中や戸外で思い切り遊び、活動できる環境作り
 空き家及び耕作放棄地の積極的な活用を進める
 休耕地（畑）に太陽光パネル設置をさせないでほしい（歯止め、法制化）
 熊、鹿の出没に農家が困っている。早急に具体的な対策を願います
 1人暮らしの方への定期的な見守り
 高齢化にともない、家の建て替えやリフォーム、自動運転の車の購入などへの補助金を充実させてほしい
 小売店がかなり食料等遠く買いに行く必要になっているため、移動販売車等の拡大
 ゴミの焼却能力向上による分別の簡易化
 災害に強いまちづくりを進めてほしい
 降水量が少ない地域であるが、風水害の被害にそなえ河川整備を整えて欲しい（天井川をなくし
 沈床の整備を早急にして欲しい）
 平常時は公園（トイレ以外のものは設置しない）、災害時は避難所になる場所
 本屋さんが減りなかなか買えない。図書館の充実を
 ドッグランの整備などペットと住みやすいまちづくりを進めてほしい

8 教育・文化・スポーツに関すること

子どもたちが学びたいことを探求できる学校づくり
 子どもたちが自習できるスペースがない（図書館は利用時間の制限が厳しい上に座席も少ない）。
 他市町村ではそういったスペースを整備しているので参考にして欲しい
 高校以上の進学先を増やし、若い人がそのまま上田に残っていきたくなくなるような学校を増やして
 ほしい
 不登校に対する施策の充実、図書館の充実
 老朽化した校舎をきれいにしてほしい
 社会人が参加出来るように平日夜間もしくは土日の講座の充実
 演劇やコンサートなど文化的な催しものをもっと増やし、フィルムコミッションで映画やドラマ
 のロケ地を呼び込む
 首都圏に近いので、一流の（世界的な）音楽演奏の楽しめる機会を多くしてほしい。義無教育関
 係の予算をもっと増額して、充実してほしい
 サントミュージゼ、古戦場公園テニスコートのように気軽に利用できる施設の整備をしてほしい（続
 けてほしい）
 スポーツ施設の見直しとスポーツ教育指導者をプロに任せるシステム
 若者が集まりやすい観光コースを作って欲しい（大学生、高校生、中学生の声を聞いて、一日観
 光コース、食べ歩きガイドを作ってほしい）

9 その他

活動について知らないことが多い。もっとアピールしてほしい
 ネットでの情報公開を進めること。補助金申請、施設利用などネット上でできるようにすること

災害が少ない地であることに安住していないか発生時の連絡等の充実
せっかく東京直通の新幹線があるのだから上田駅を中心とした再開発を進めてほしい。駅ビル、
駅直結アリーナなどで上田城との相乗効果を。花火大会の打ち上げ発数が少ない。諏訪並みとは
いかずとも今の2倍くらいの発数はあげられるスポンサー集めを
車の返納した後はタクシーチケットを低価格で使える様にしてほしい
物価があがり生活に困っている家庭が沢山あると思う。国ではなく上田市独自で救ってほしい
ゴミ袋が高い
ごみ処理場の決定
消防団に入りたくなるくらい報酬を上げる、もしくは操法大会を2年に1回にする等、負担を減
らして欲しい
夏期期間（日曜日）上田→美ヶ原バス運行往復一本でも観光につながるのではないかと考える
上田城をもっと整備して観光としてもっと成長する町にして欲しい

令和6年 上田市住民アンケート
調査結果報告書

令和6年8月
長野県 上田市
